

中央新幹線長野県駅（仮称）新設 中央新幹線、風越山トンネル（上郷） 工事進捗説明会

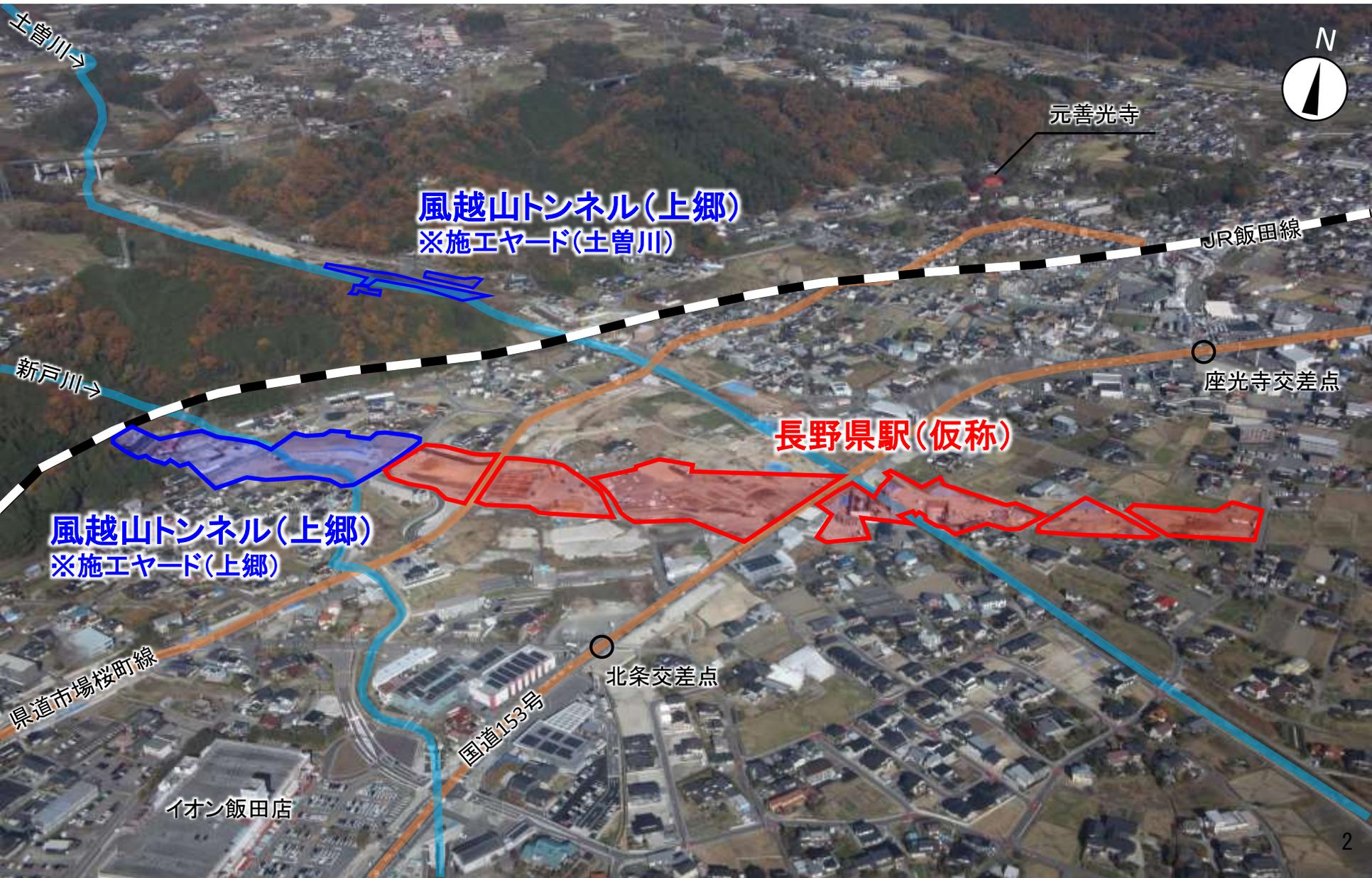
2026年 3月3日（火） 19:00～ 於：上郷公民館

2026年 3月7日（土） 14:00～ 於：座光寺公民館



位置図

○今年度の工事施工ヤード



1. 長野県駅(仮称)の工事進捗状況について

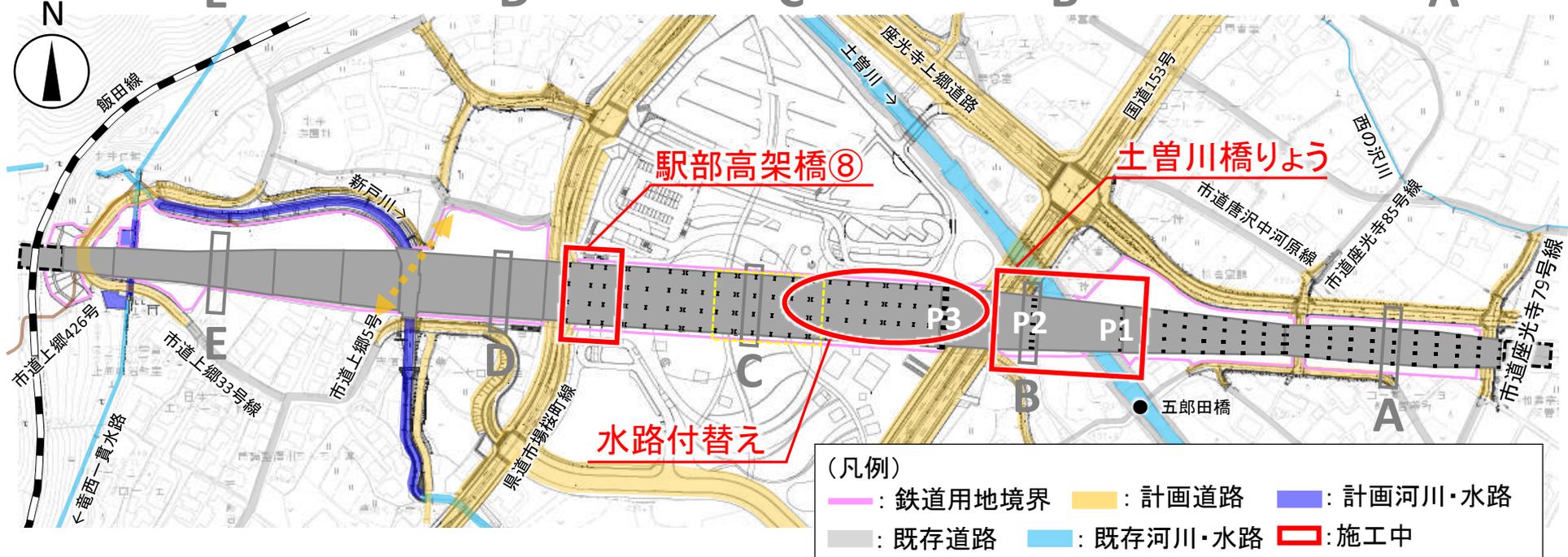
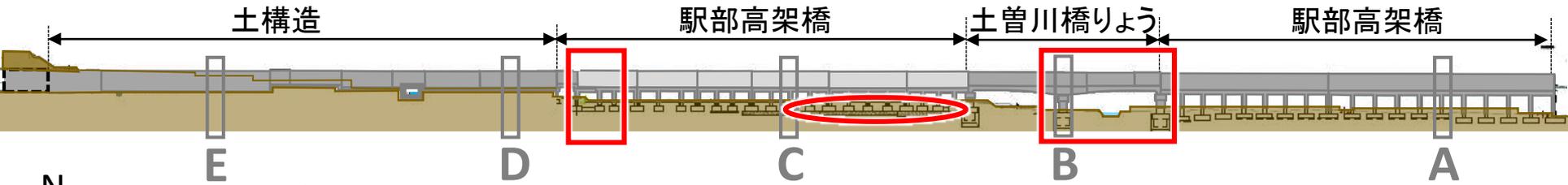
- 1) 今年度の主な工事内容
- 2) 来年度の主な工事内容

2. 風越山トンネル(上郷)の工事進捗状況について

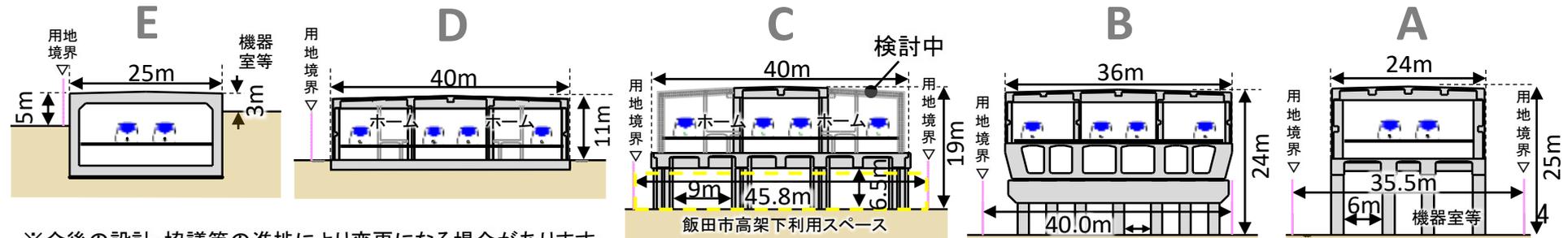
- 1) 今年度の主な工事内容
- 2) 来年度の主な工事内容

長野県駅(仮称) 工事概要

○今年度の主な工事内容



- (凡例)
- : 鉄道用地境界
 - : 計画道路
 - : 計画河川・水路
 - : 既存道路
 - : 既存河川・水路
 - : 施工中

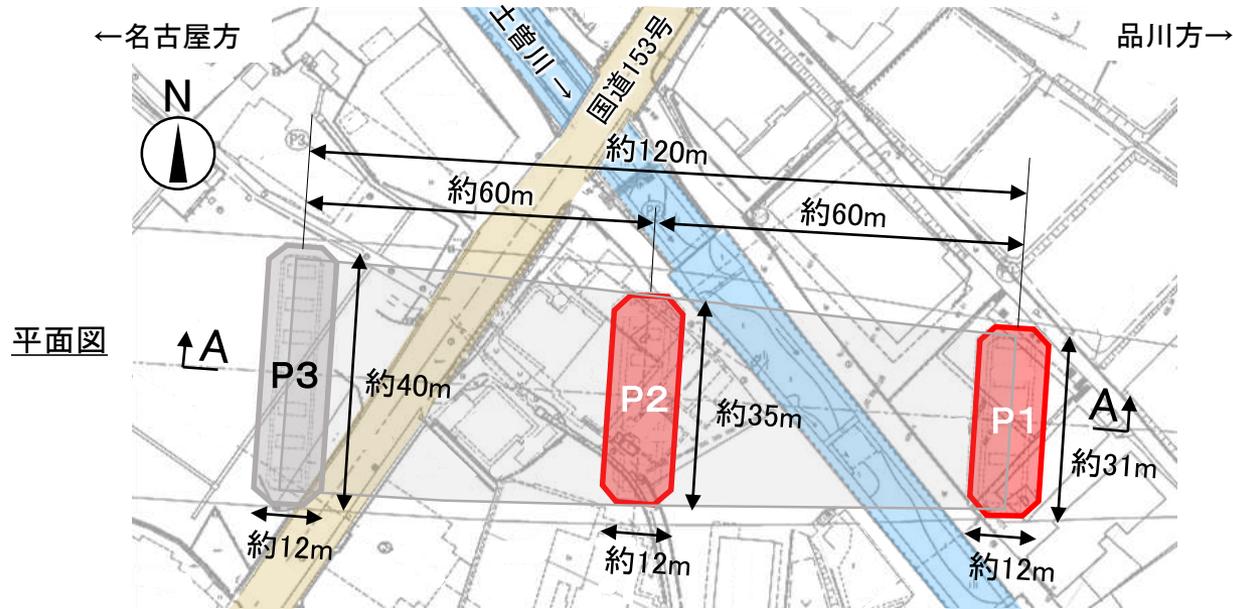


※今後の設計・協議等の進捗により変更になる場合があります。

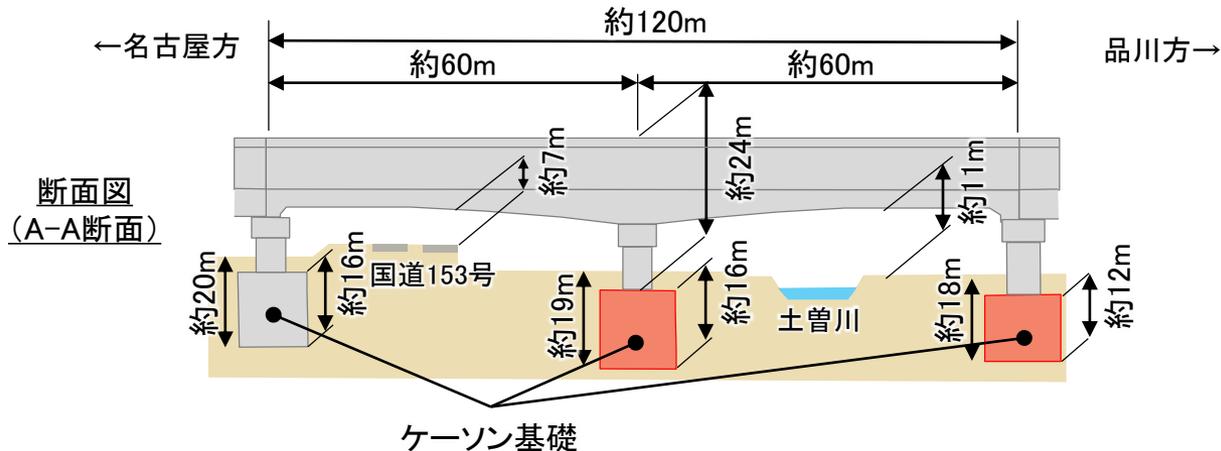
土曾川橋りょう

○現在の進捗

- ・P1橋脚: ケーソン基礎の沈下掘削と要対策土の搬入が完了し、現在は基礎構築を実施中
- ・P2橋脚: ケーソン基礎の構築と沈下掘削を開始し、現在も同作業を実施中



施工状況写真(P1)



施工状況写真(P2)

土曾川橋りょう

○要対策土の搬入実績(P1橋脚)

<搬入実績>

- ・2025年6月9日：搬入工事開始
- ・2025年7月7日：搬入工事完了

<施工写真>



① 躯体検査
(ケーソン基礎側壁厚1.5mの確認)



② 漏出防止措置



③ 搬入中



④ 飛散防止措置



⑤ 搬入完了



⑥ 蓋コンクリート打設

土曾川橋りょう

OP1橋脚施工に伴う水質調査結果

採取日		採取箇所					
		水質（河川水）		水資源（地下水の水質）			
年	月	A	B	C	D	E	F
2025	4	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	5	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	6	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	7	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	8	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	9	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	10	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	11	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	12	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
2026	1	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
	2	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満



基準値(ヒ素) : 0.01以下

<河川水>

- ・人の健康の保護に関する環境基準

<地下水>

- ・地下水の水質汚濁に係る環境基準

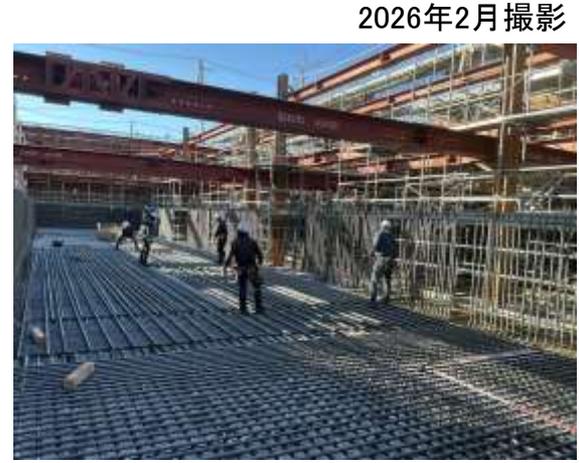
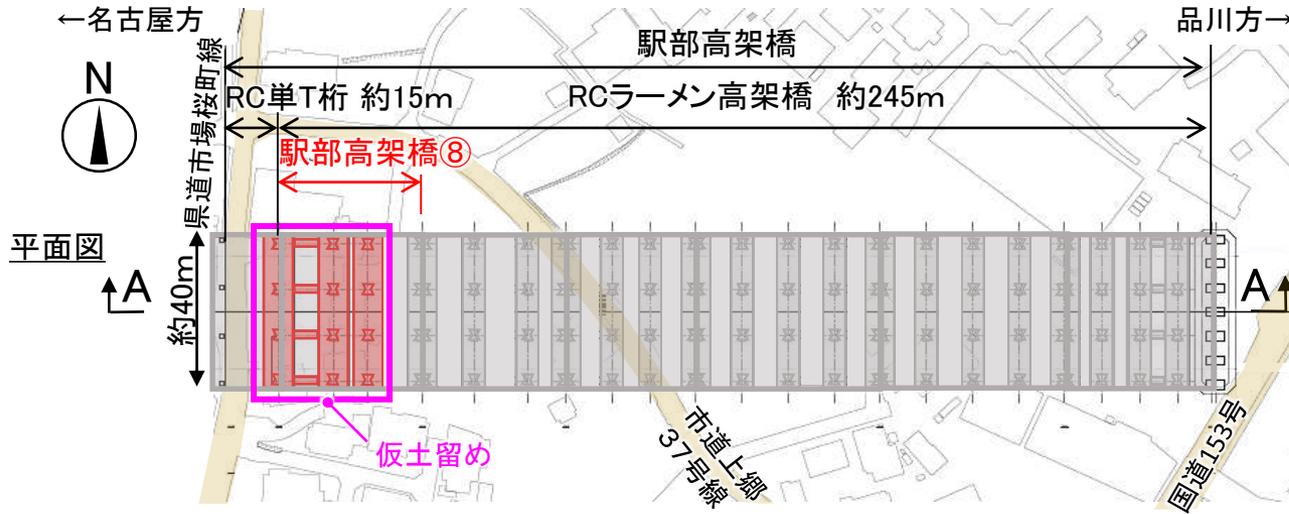
毎月の調査結果

- ・P1橋脚施工時および施工完了後の水質調査結果に異常は見られませんでした。
- ・調査結果は、年度毎にとりまとめ長野県及び飯田市に報告するとともに、月毎の結果は工事だよりにてお知らせしています。

駅部高架橋⑧

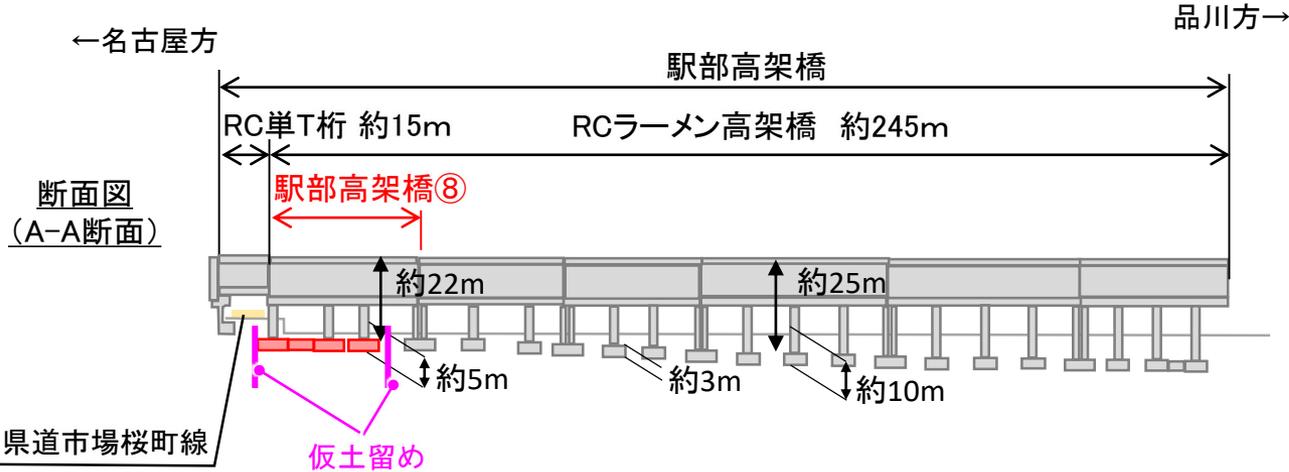
○現在の進捗

・仮土留めおよび掘削が完了し、現在は基礎構築を実施中



2026年2月撮影

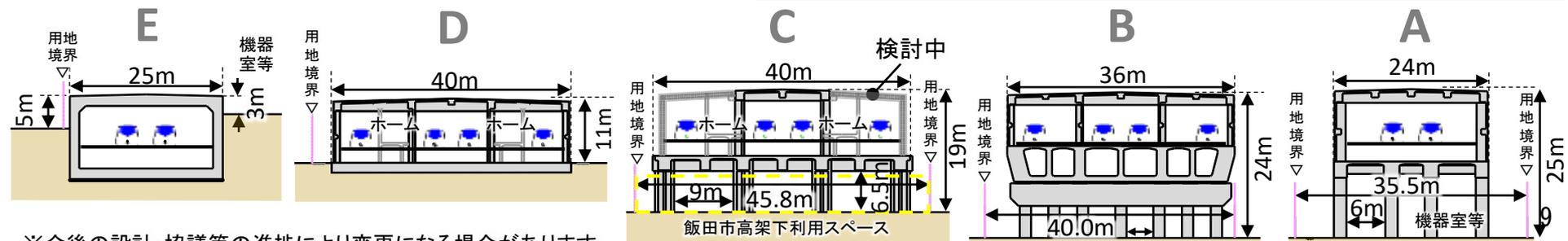
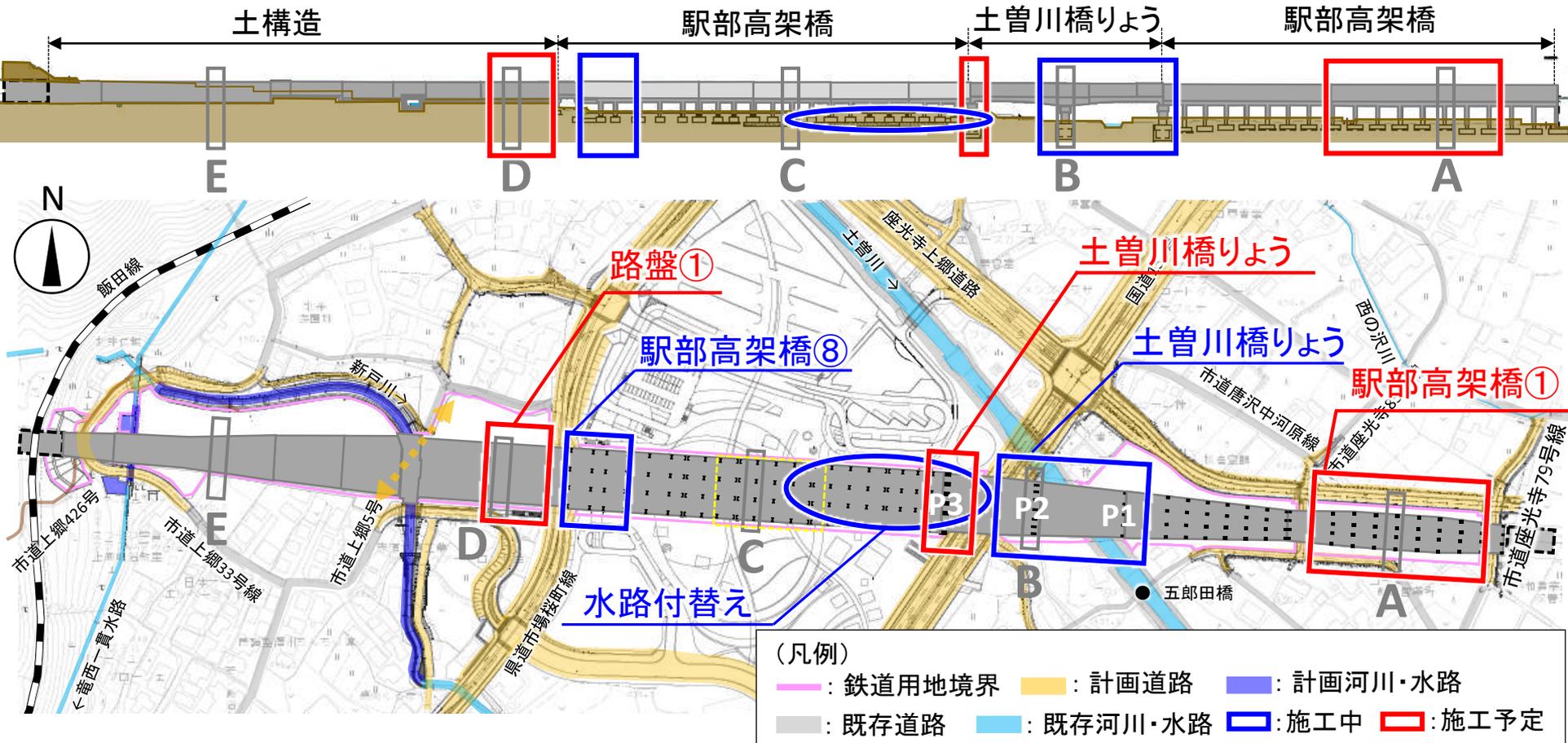
施工状況写真



施工状況写真

長野県駅(仮称) 工事概要

○来年度の主な工事内容

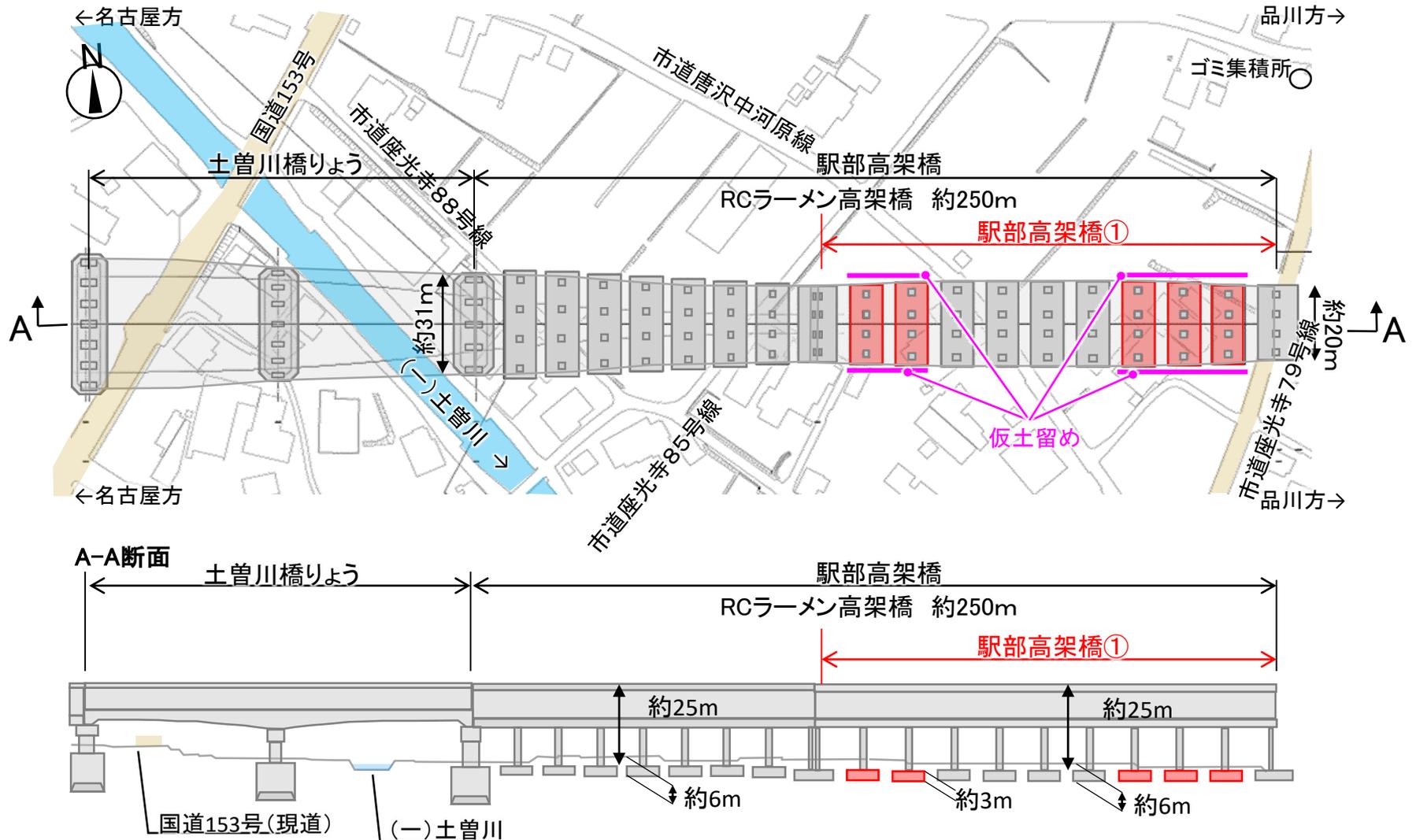


※今後の設計・協議等の進捗により変更になる場合があります。

駅部高架橋①

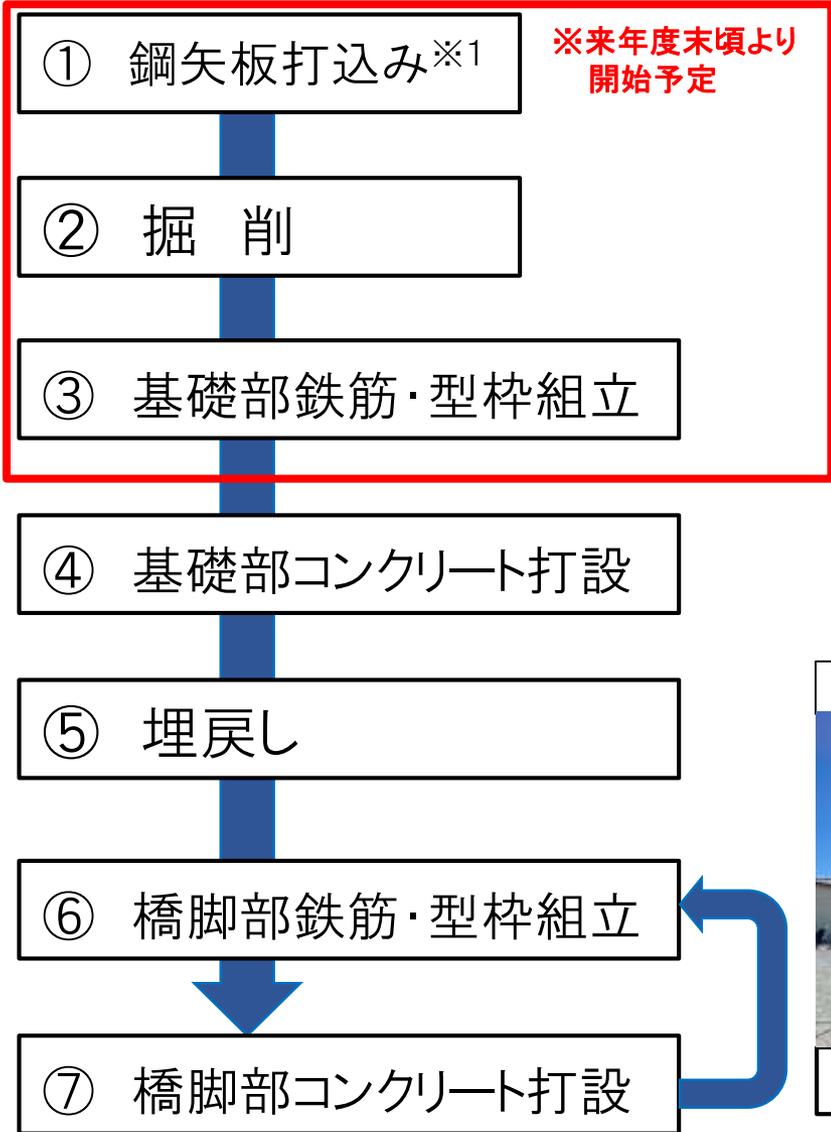
○来年度の主な工事内容

- ・来年度末頃から、駅部高架橋区間のうち駅部高架橋①の基礎工事を開始予定

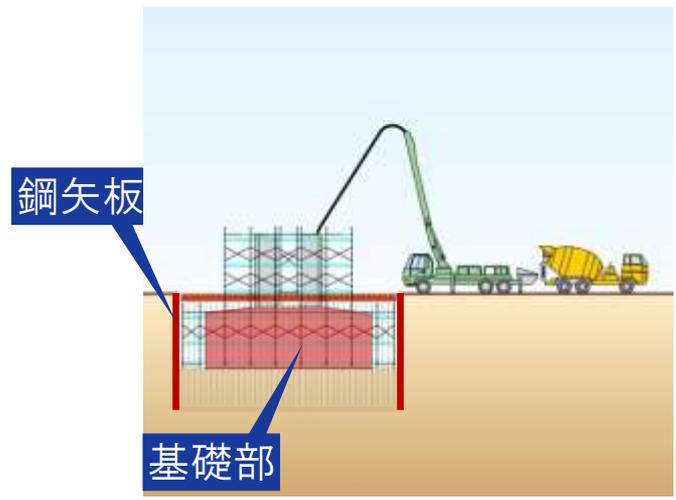


駅部高架橋①

○来年度の主な工事内容



※来年度末頃より
開始予定



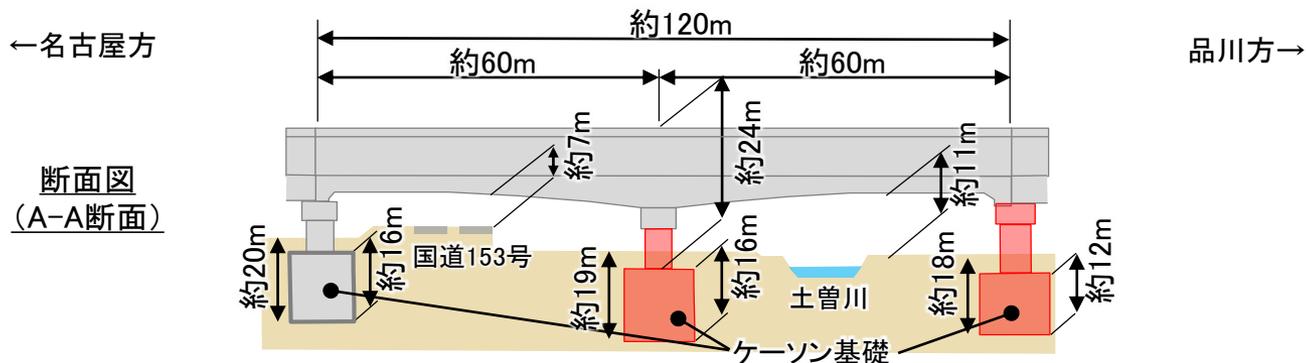
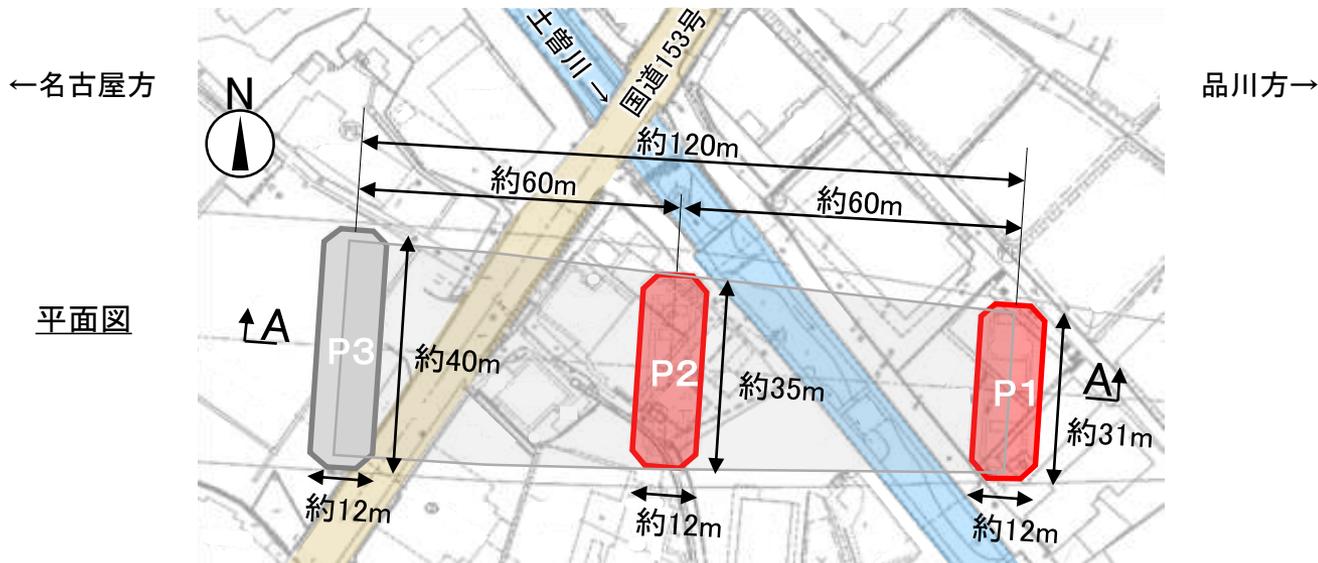
※一部の基礎については、①鋼矢板打設を行わず、安定勾配にて②掘削を行う場合がある。

土曾川橋りょう

○来年度の主な工事内容

- ・P1橋脚：引き続き基礎構築を実施し、来年度春頃より橋脚構築を実施
- ・P2橋脚：引き続き基礎構築と沈下掘削を実施し、来年度5月頃より要対策土の活用を実施
- ・P3橋脚：来年度秋頃よりヤード整備等の準備工を実施

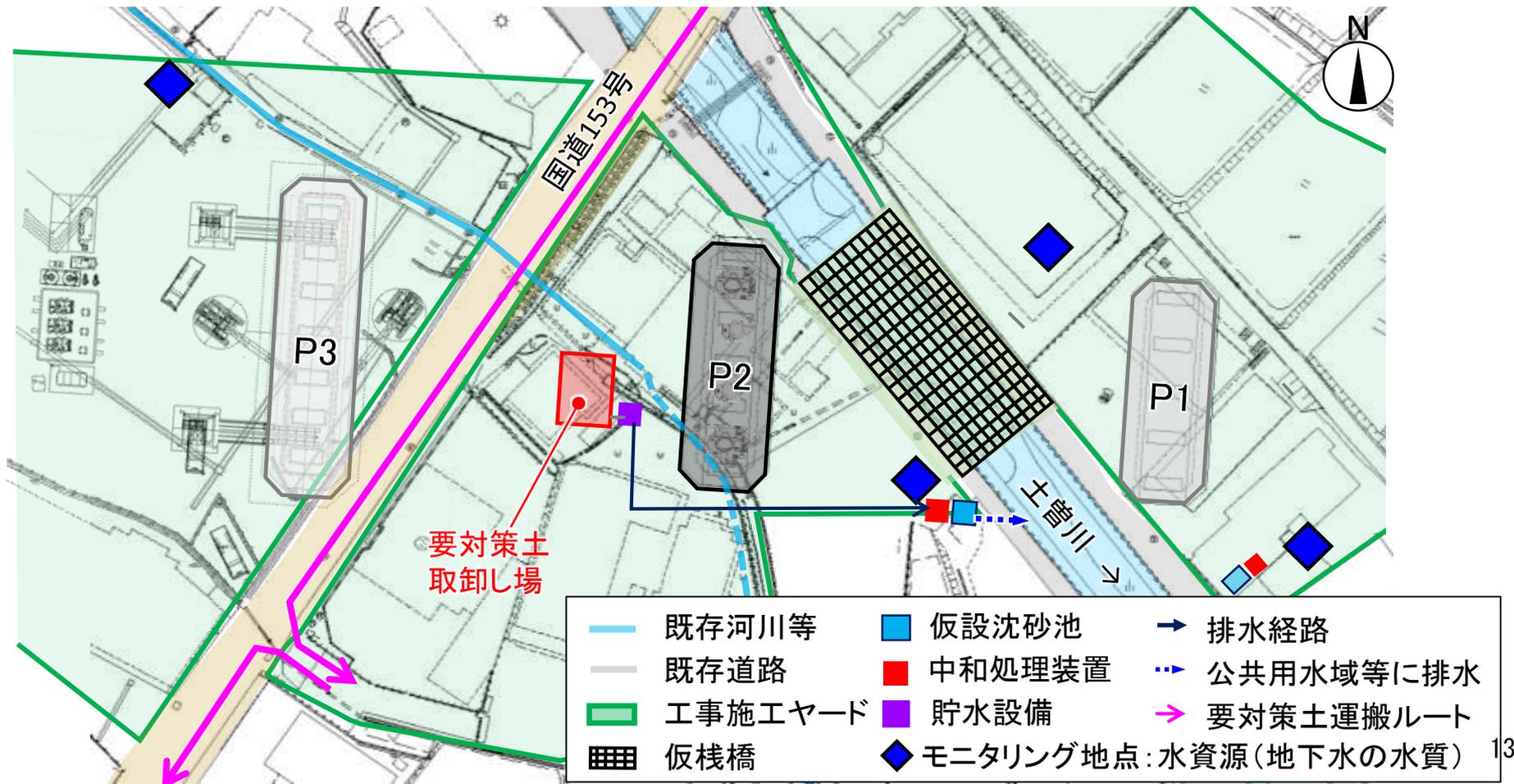
※2028年度第1四半期頃に要対策土の活用を実施



土曾川橋りょう

○要対策土の搬入予定(P2橋脚)

- ・施工ヤードが土曾川右岸になることに伴い、ダンプトラックの進入路や取卸し場の位置が変更となります。
- ・なお、P2橋脚の運搬計画、施工方法、水質調査等は基本的にP1橋脚と同様に実施します。詳細は次のページ以降でご説明します。



【要対策土の運搬計画】

- ・他事業における運搬事例等も参考とし、ダンプトラックで運搬します。
- ・ダンプトラックの荷台を飛散防止シートで覆い飛散防止(防塵・防流出)を徹底します。
- ・なお、ケーソン基礎内への要対策土の搬入方法について、容器を用いる方法を計画していましたが、県助言等を踏まえ、大型土嚢を用いる方法に変更しました。この計画変更に伴い、作業性を考慮して、要対策土を運搬前に大型土嚢に入れてダンプトラックにて運搬します。
- ・降雨時や降雨が予想される場合等は要対策土運搬車両の出発を中止することで、運搬時や一時保管時の浸水リスクを低減します。
- ・車両運行管理システムの活用や運転手への指導により、安全運転を徹底します。
- ・事故が発生した場合、速やかに警察、消防等に連絡するとともに、応急対応資材等を持参の上現場へ急行し、速やかに要対策土の拡散防止措置を講じます。



・P2橋脚施工時の運搬計画は
P1橋脚施工時と同様の計画
とします。

P1橋脚施工時の運搬状況(R7. 6)

【要対策土の運搬計画】



- ・ 1日の運搬土量は、その日にケーソン基礎内に搬入する土量とします。
- ・ 要対策土の搬入期間をできる限り短縮するため、運行台数を増加することも検討しますが、中央新幹線長野県駅(仮称)新設工事全体における工事用車両の運行計画台数は超過しないよう調整します。
- ・ なお、運搬にあたっては、高負荷運転の抑制や工事従事者への講習・指導等を実施することで、温室効果ガスの排出量削減に努めます。

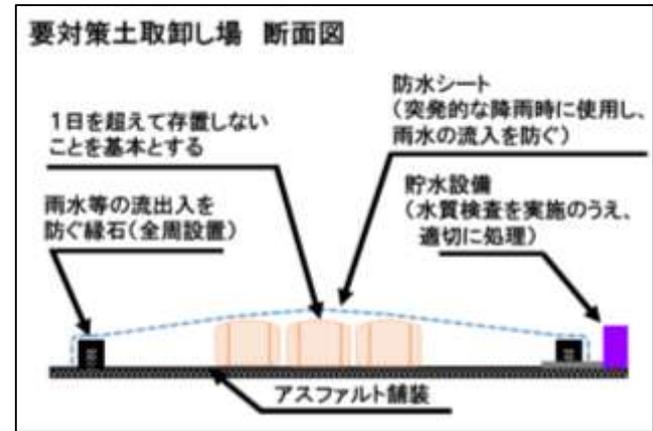
- ・ 活用量: 約2,000m³
- ・ 運行期間: 2ヶ月(降雨等により延期する場合があります)
- ・ 運行台数: 1日あたり片道約25台程度

【要対策土の取卸し計画】

- ・要対策土の運搬及び取卸し、ケーソン基礎内への搬入は原則として同日に行い、要対策土を取卸し場に1日を超えて存置しないことを基本とします。
- ・搬入完了後から次の搬入までは、要対策土取卸し場及び基礎部は防水シートで覆う等、雨水の浸入や微量に残置された要対策土の飛散防止を図ります。



P1橋脚施工時の要対策土取卸し状況(R7. 6)



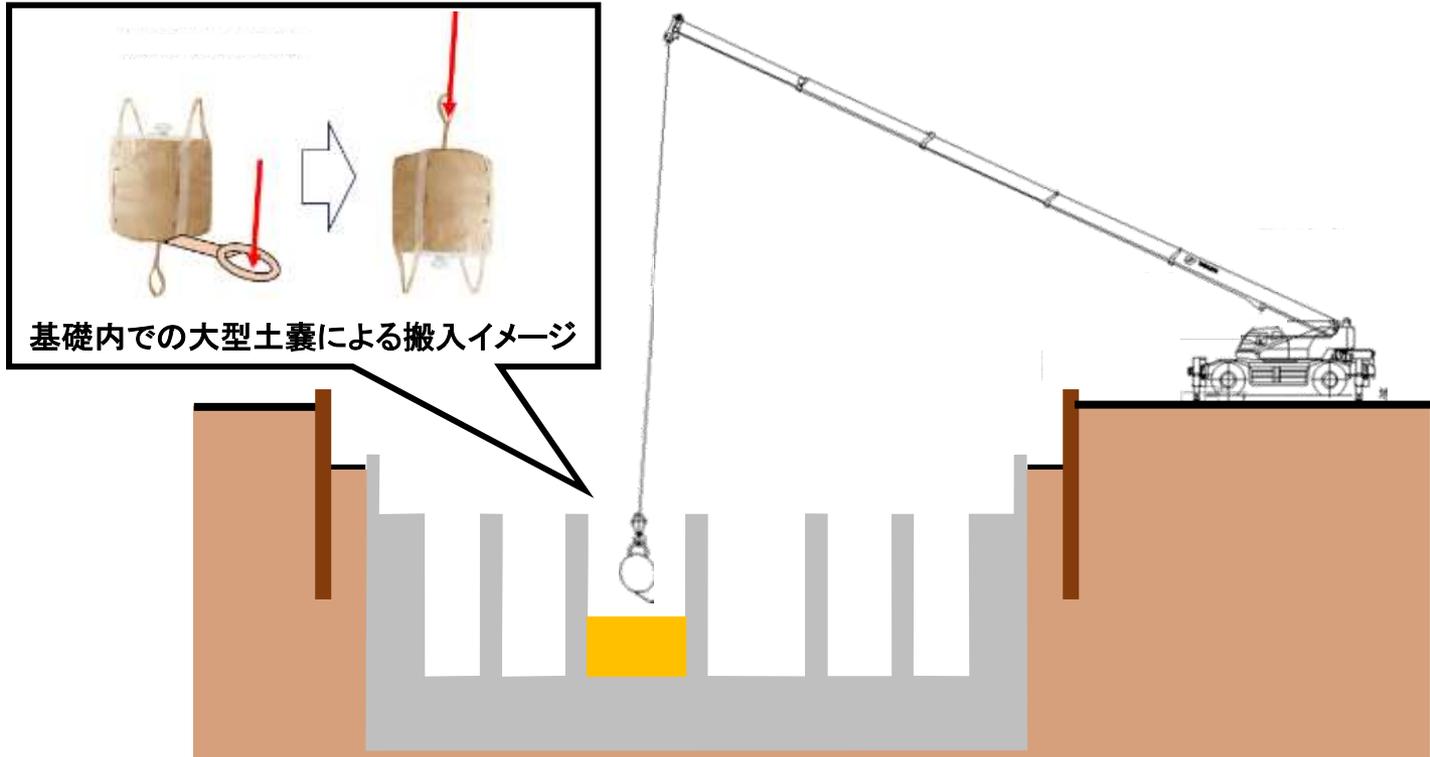
- ・P2橋脚での取卸しや飛散防止はP1橋脚と同様の方法で計画しています。



P1橋脚施工時の要対策土飛散防止状況(R7. 6)

【要対策土のケーソン基礎内への搬入計画】

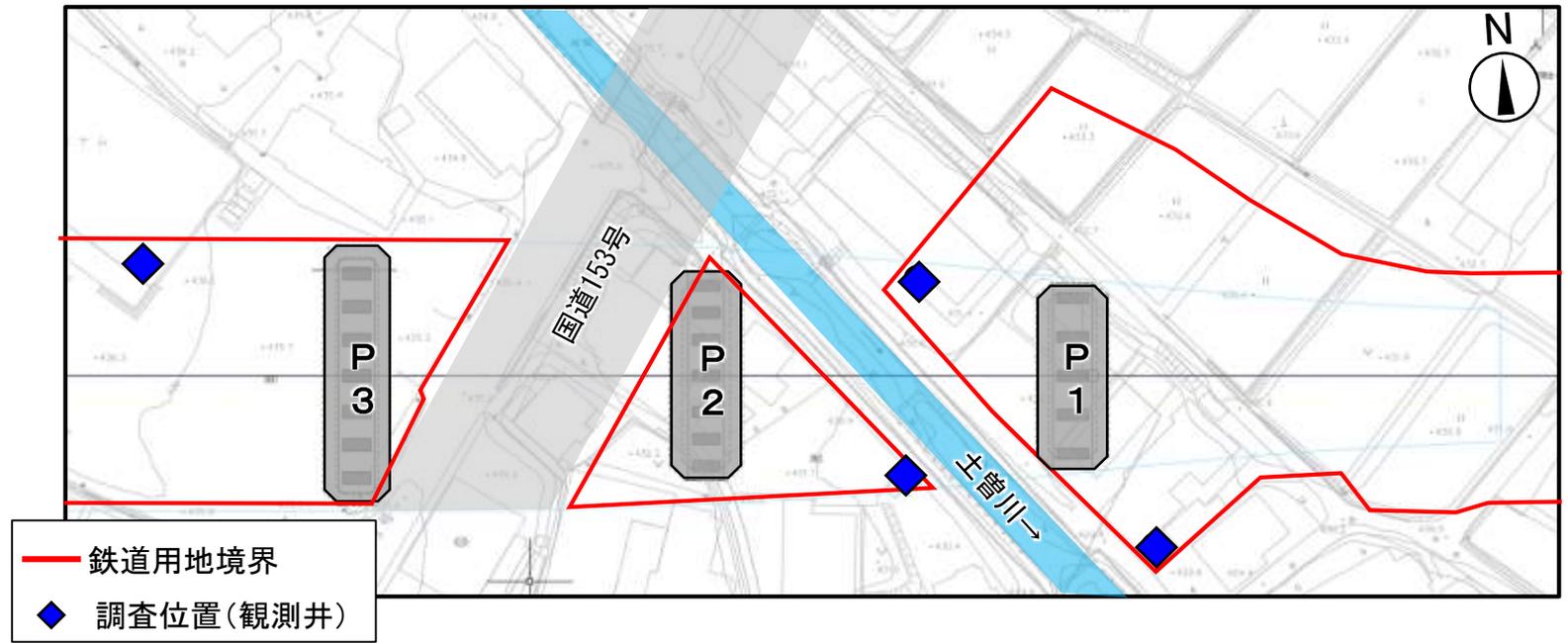
- ・容器を用いる搬入方法を計画していましたが、県助言等を踏まえ、大型土嚢を用いる方法とし、搬入時の要対策土のこぼれ落ちや飛散の防止効果がより高い方法に変更しました。
- ・具体的な搬入方法について、まず、運搬車両の荷台からクレーンを用いて、要対策土が入った大型土嚢を取り出し場に仮置きします。
- ・その後、クレーンにてケーソン基礎内に吊下ろし、基礎内で大型土嚢の袋を開け、要対策土を敷均します。
- ・P2橋脚での搬入はP1橋脚と同様の搬入方法を計画しています。
- ・下図は、P2橋脚の投入イメージ図です。



基礎内での大型土嚢による搬入イメージ

【継続的な水質調査について】

- ・土曾川橋りょう基礎の中詰め材として要対策土を活用することに伴い、下図の地点で、地下水の水質調査を実施します。
- ・地下水の水質調査は、要対策土取扱後も継続して実施します。



調査項目		調査頻度
◆ 【要対策土】 水資源 (地下水の水質)	水素イオン濃度(pH)、水温、水位、 電気伝導率、 自然由来の重金属等	<ul style="list-style-type: none"> ・要対策土の取扱前: 月1回 ・要対策土の取扱中: 月1回 ・要対策土の取扱後: 月1回※

※調査期間・頻度・周知方法・調査方法等は、地元及び自治体と相談します。

- ・P2橋脚施工時の水質調査はP1橋脚施工時と同様の計画とします。

【河川水(水質)の河川上流側での調査について】

- ・土曾川橋りょう基礎の中詰め材として要対策土を活用することに伴い、下図の調査地点で、土曾川の水質調査を実施します。
- ・県助言等では、工事施工ヤードの河川下流側のみではなく、上流側においても同時に水質の調査を行い、工事の影響を的確に把握するようにとの意見がありました。この意見を踏まえ、河川上流側に調査地点を追加の上、実施します。
- ・上記の水質調査に加え、要対策土取扱中は工事管理の一環として、ヒ素を対象とした水質確認を土曾川の下流側で週1回実施します。(結果については、上郷・座光寺自治振興センターにお伝えします。)



調査項目		調査頻度
☆【要対策土】 ★ 水質(河川水)	浮遊物質(SS)	・要対策土の取扱前: 1回 ・要対策土の取扱中: 年1回 (低水期に実施)
	水温 水素イオン濃度(pH)、 自然由来の重金属等	・要対策土の取扱前: 月1回 ・要対策土の取扱中: 月1回 ・要対策土の取扱後: 月1回※

※測定終了時期については、対象物質濃度の測定値が環境基準値を満たし、かつ工事前から工事中の測定値内であることを踏まえたうえで判断します。なお、これらによらない場合でも、バックグラウンド濃度等と比較のうえ、要対策土に起因しないと判断できる場合には、長野県等に確認のうえで判断します。

【水質調査結果の丁寧な説明について】

- ・橋脚基礎部付近の観測井での水質調査結果は、現在、施工会社から毎月発行している「工事だより」でお知らせしています。なお、工事だよりは北条振興センター、丹保研修センター等の土曾川橋りょう周辺地区の集会所に常時掲示します。
- ・現在、「土曾川上下流」「橋脚基礎部付近の観測井(4箇所)」にて、要対策土活用前の水質調査を実施していますが、基準値未満であることを確認しています。
- ・今後も要対策土に係る地下水や河川水の水質調査結果については、適宜公表するとともに、説明会等を通じて、皆さまへ丁寧に説明してまいります。

土曾川橋りょうの地下水調査 (JR東海)

土曾川橋りょうでの要対策土の活用に伴い実施している、土曾川橋りょう東側橋脚周辺の地下水調査(重金属)は、下表のとおり、水質に関する全ての項目で基準値以下でした。

令和7年2月の調査結果 (mg/L)

調査項目	カドミウム	六価クロム	水銀	セレン	鉛	ヒ素	ふっ素	ほう素
基準値	≤0.003	≤0.02	≤0.0005	≤0.01	≤0.01	≤0.01	≤0.8	≤1
調査結果	0.0003 未満	0.01 未満	0.0005 未満	0.002 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.08 未満	0.02 未満

※基準値は「環境省 地下水の水質汚濁に係る環境基準について 別表」に基づく。

調査結果の「～未満」は、測定できる最低値未満であることを示す。

お問い合わせ先： 環境保全事務所(長野) 0265-52-6511

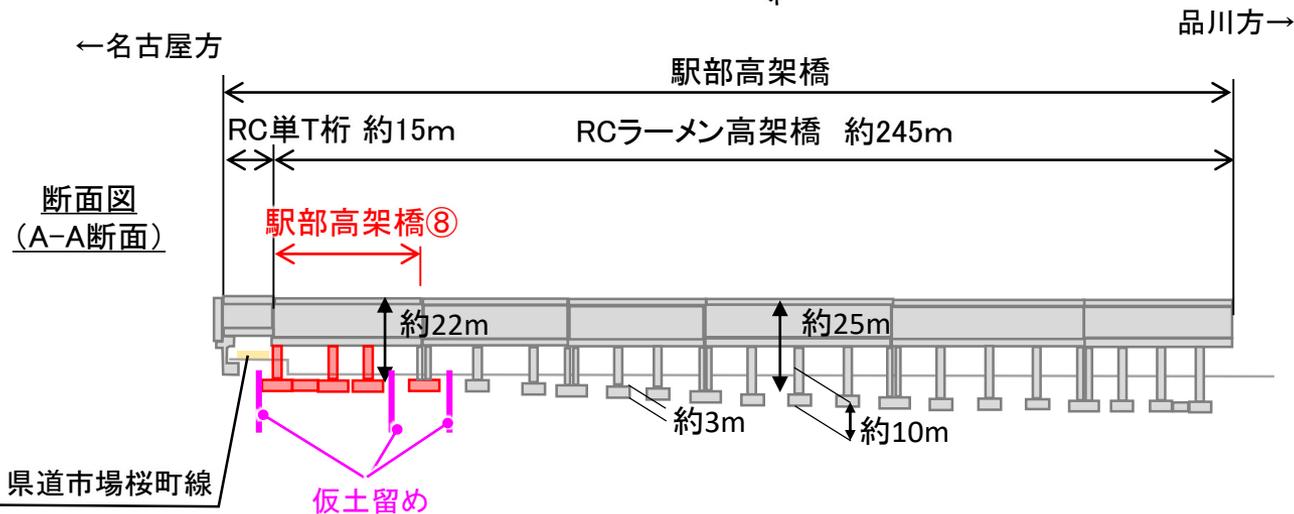
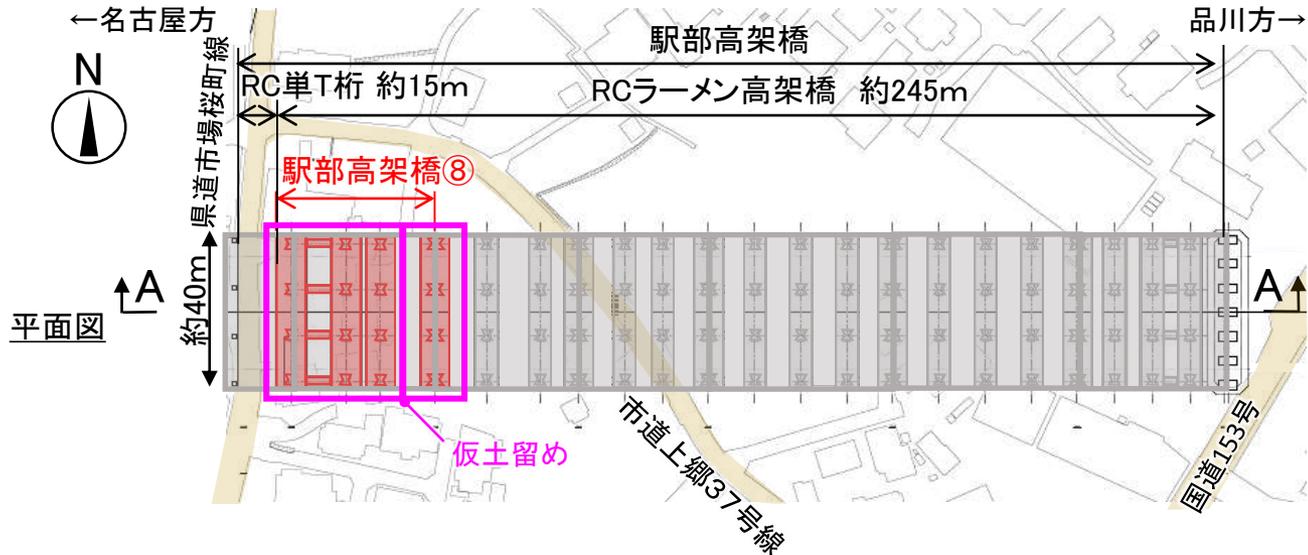
「長野県駅(仮称)新設 工事だより」での掲載内容

- ・P2橋脚施工時も引き続き水質調査結果の丁寧な説明をしてまいります。

駅部高架橋⑧

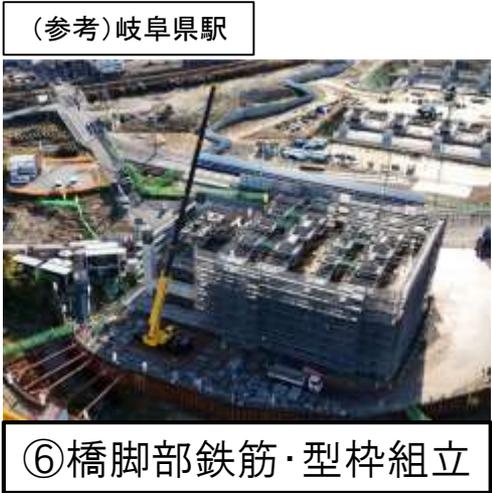
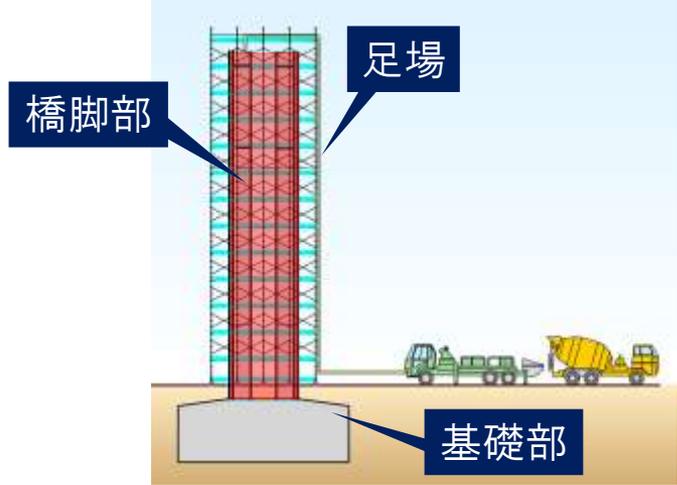
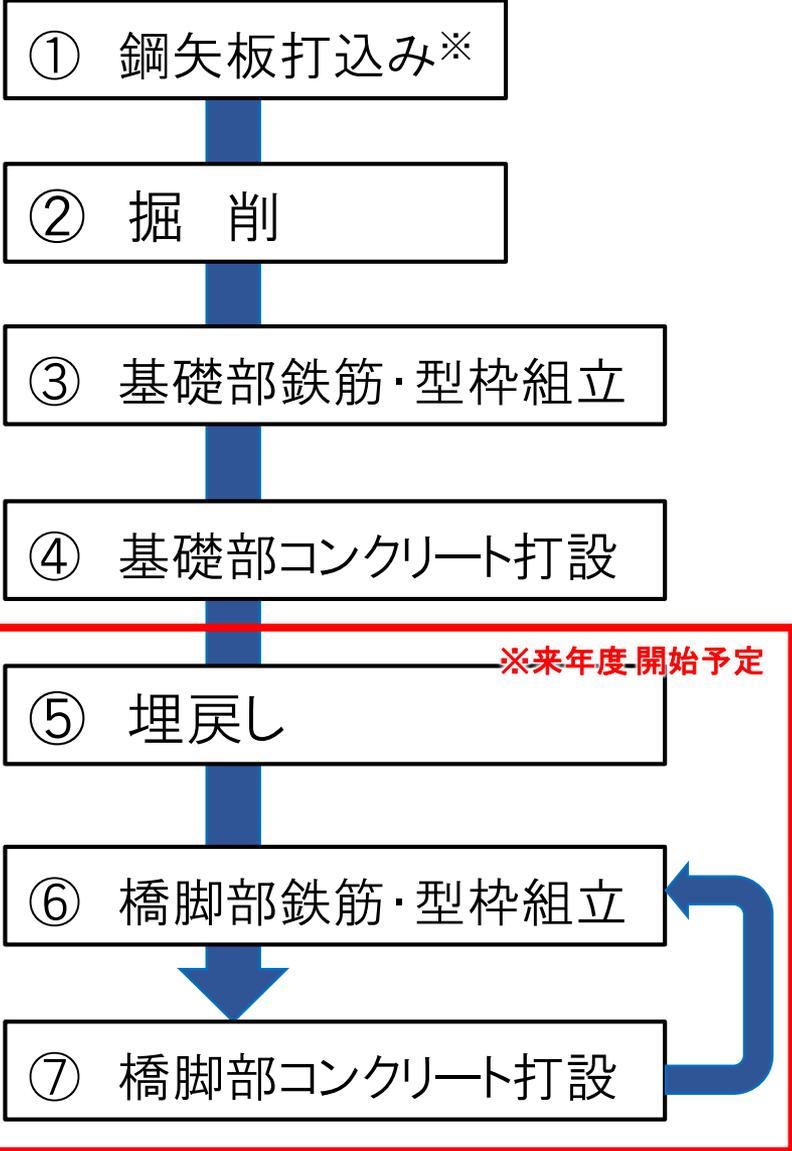
○来年度の主な工事内容

- ・引き続き、基礎構築を実施し、春頃から柱の構築を開始予定



駅部高架橋⑧

○来年度の主な工事内容

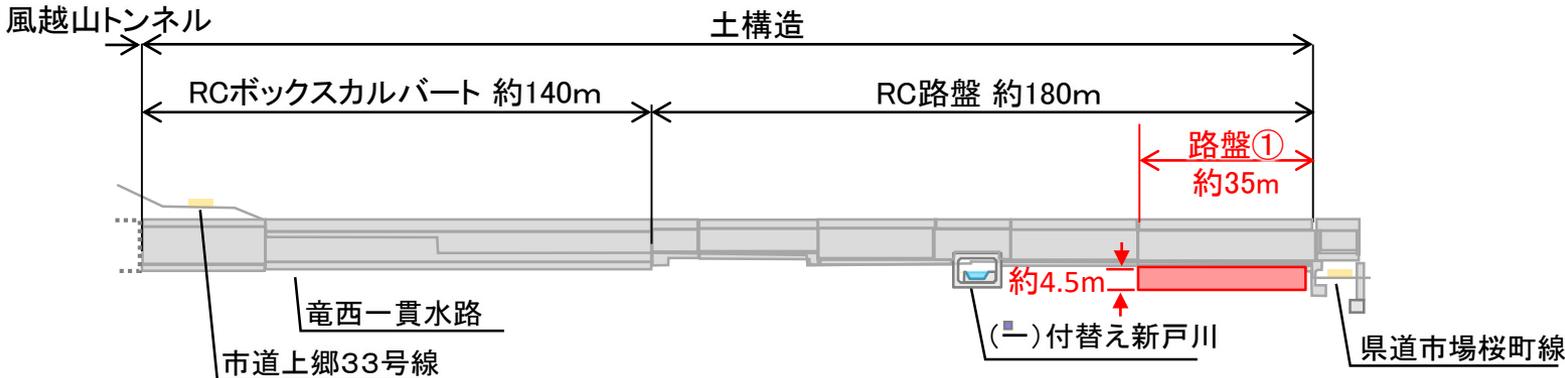
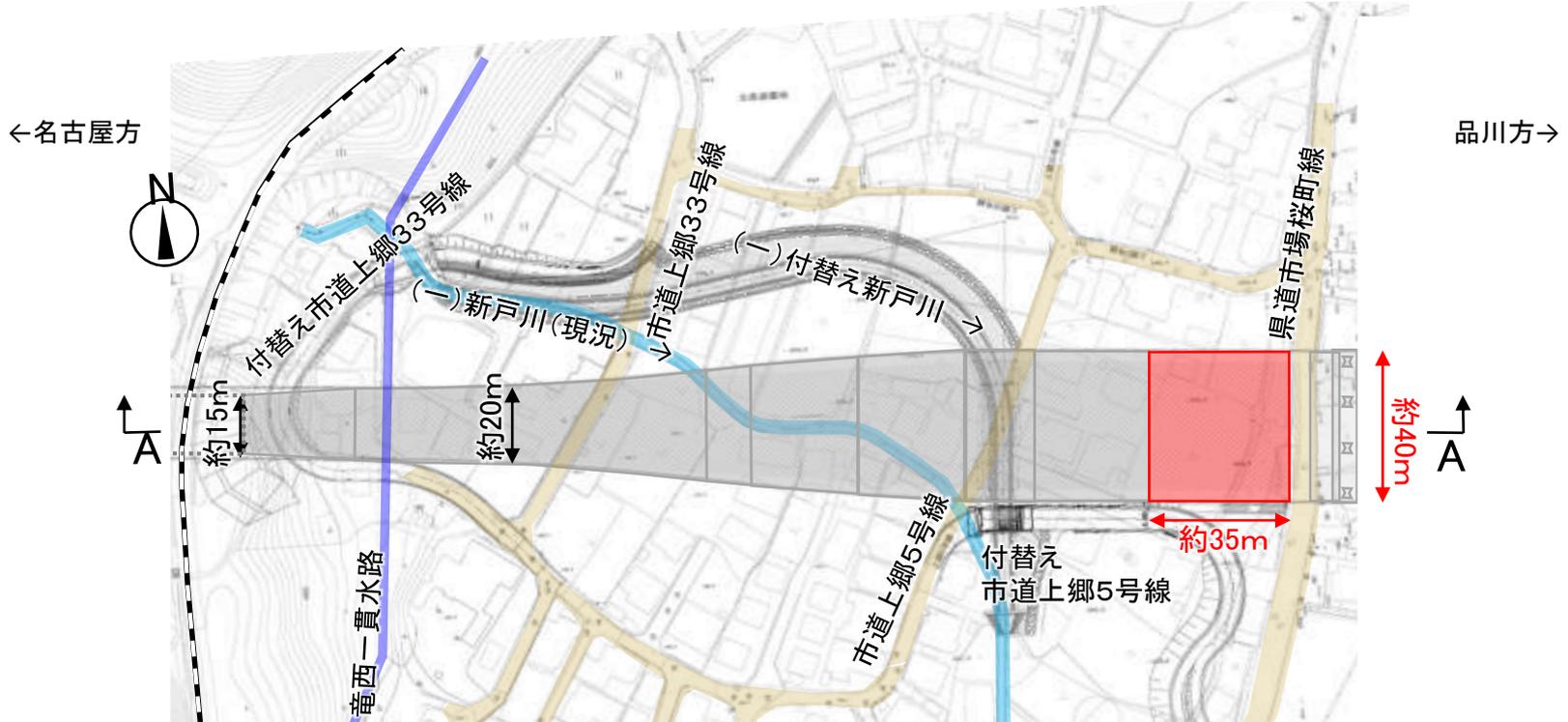


※一部の基礎については、①鋼矢板打設を行わず、安定勾配にて②掘削を行う場合がある。

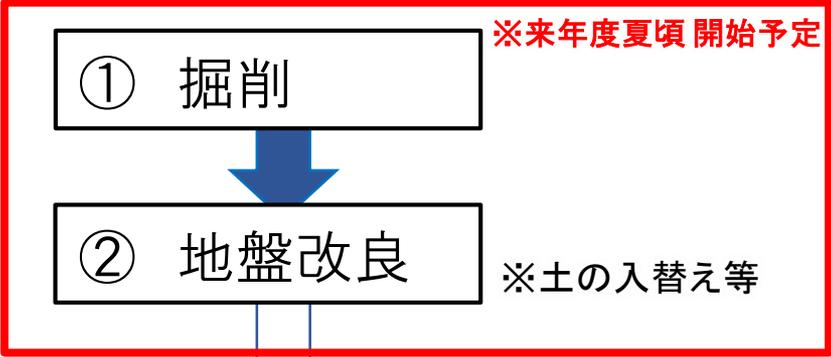
路盤①

○来年度の主な工事内容

- ・来年度秋頃から、土構造のうち路盤①の地盤改良を開始予定



○来年度の主な工事内容

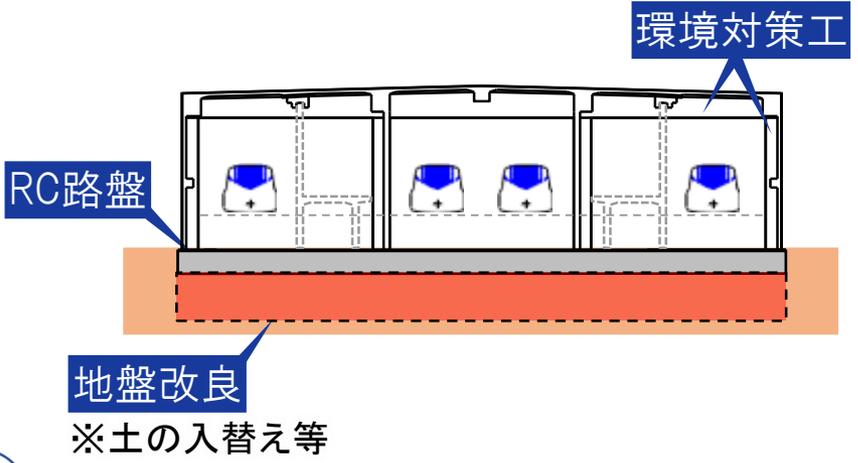


③ 路盤鉄筋・型枠組立

④ 路盤コンクリート打設

⑤ 環境対策工・壁柱部鉄筋・型枠組立

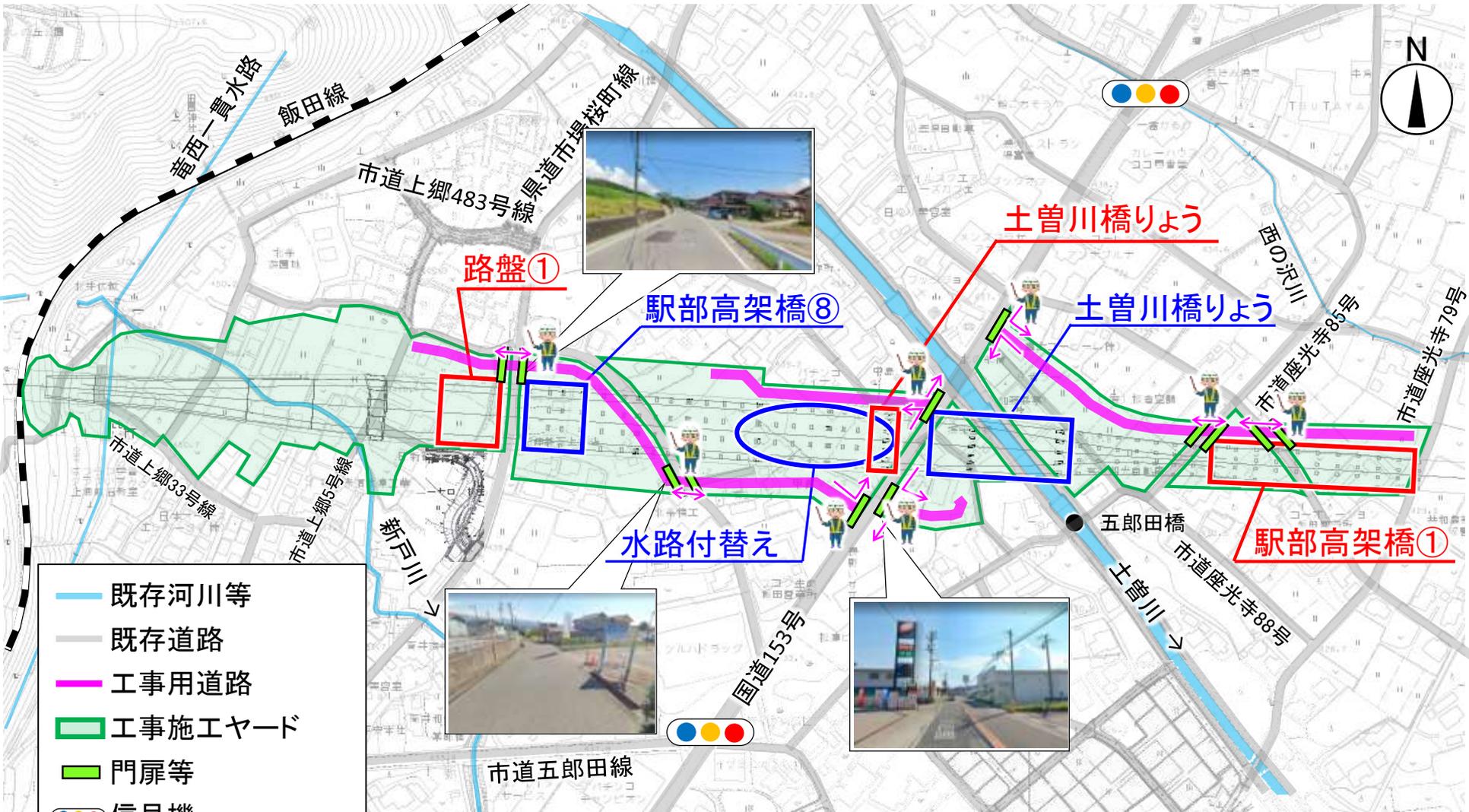
⑥ 環境対策工・壁柱部コンクリート打設



※③以降の作業時期は他作業の進捗による

ヤード計画・工事用車両ルート

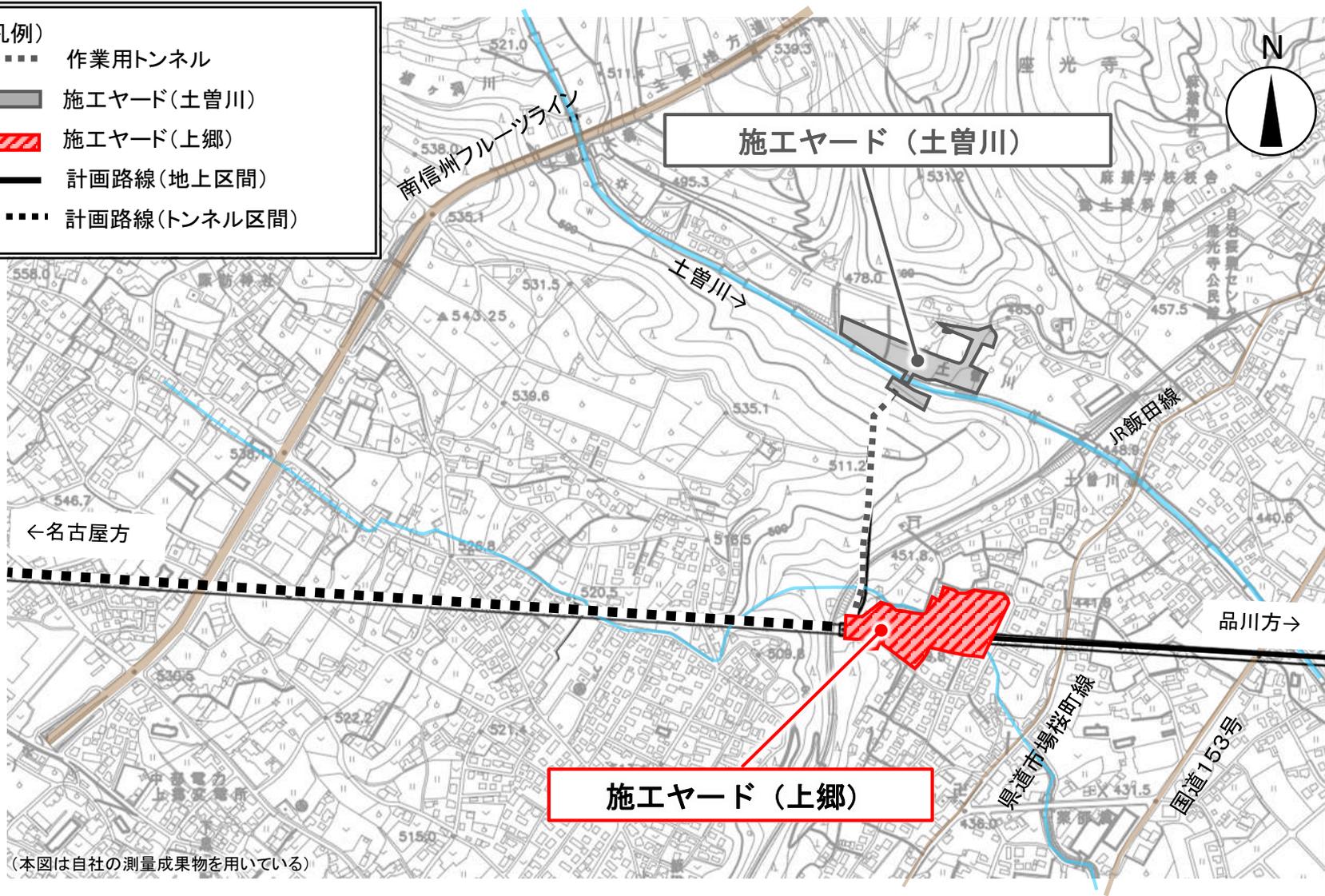
○来年度のヤード計画・工事用車両ルート



安全な車両運行に向け、交通安全マップを用いて作業員への教育を行います。工事用ルートや交通誘導員の配置については「工事だより」にてお知らせします。
 ※交通誘導員等の配置箇所は、今後の協議等により変更となる場合があります。²⁵

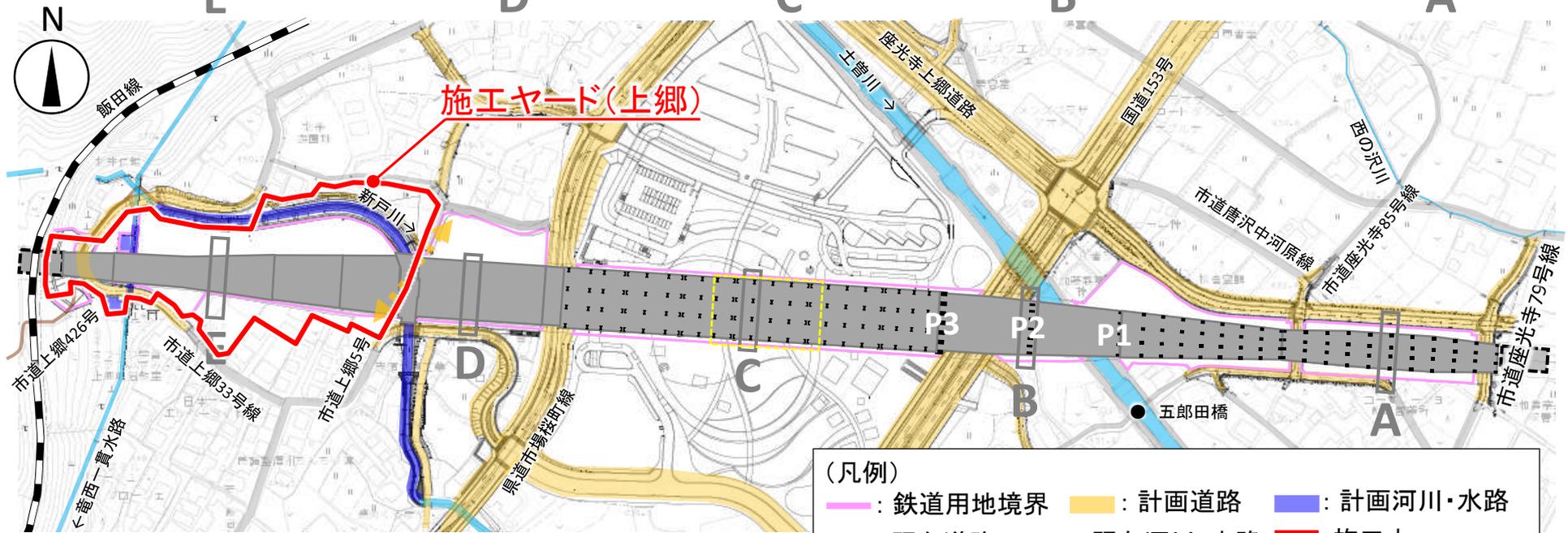
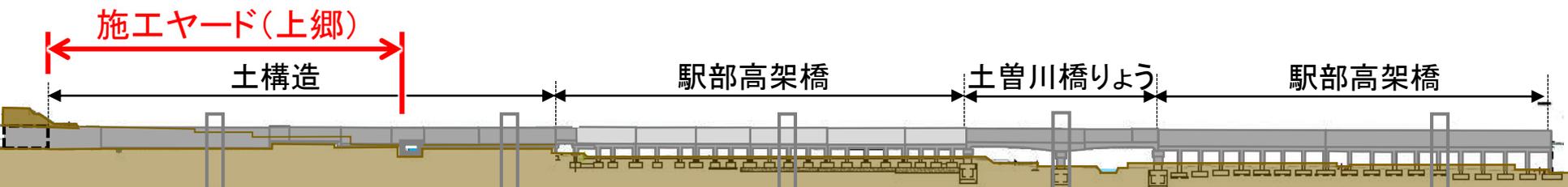
風越山トンネル（上郷）工事概要

- (凡例)
- 作業用トンネル
 - 施工ヤード(土曾川)
 - ▨ 施工ヤード(上郷)
 - 計画路線(地上区間)
 - 計画路線(トンネル区間)

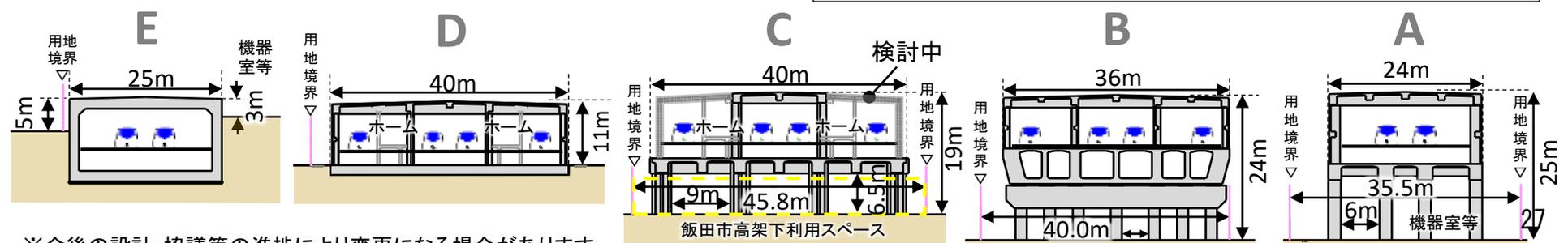


(本図は自社の測量成果物を用いている)

施工ヤード(上郷)



- (凡例)
- 鉄道用地境界
 - 計画道路
 - 計画河川・水路
 - 既存道路
 - 既存河川・水路
 - 施工中

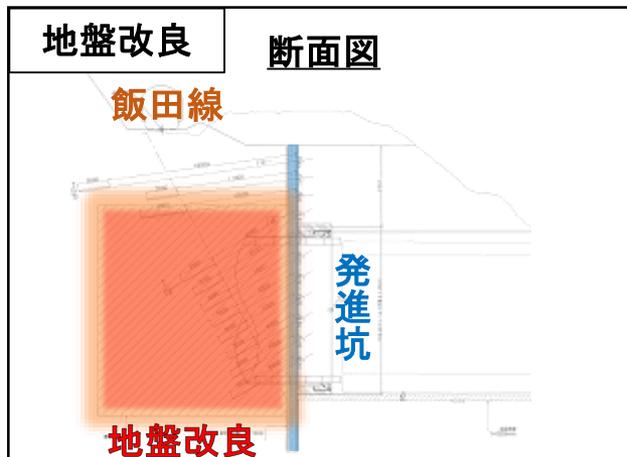
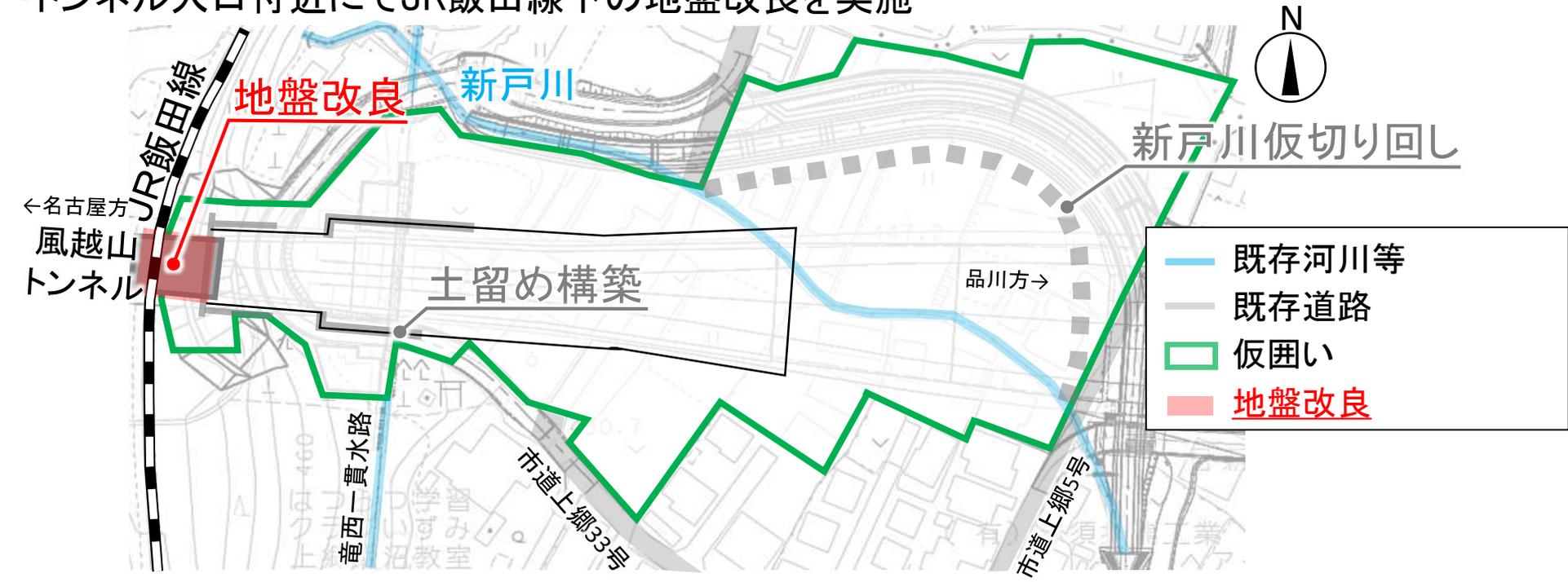


※今後の設計・協議等の進捗により変更になる場合があります。

施工ヤード(上郷)

○現在の進捗(上郷ヤード)

・トンネル入口付近にてJR飯田線下の地盤改良を実施



施工状況写真(地盤改良)



施工状況写真(地盤改良)



施工ヤード(上郷)

○現在の進捗(上郷ヤード)

・シールド発進坑付近の土留め構築を実施中



施工状況写真(土留め構築)

施工状況写真(土留め構築)

A-A' 断面



施工ヤード(上郷)

○現在の進捗(上郷ヤード)

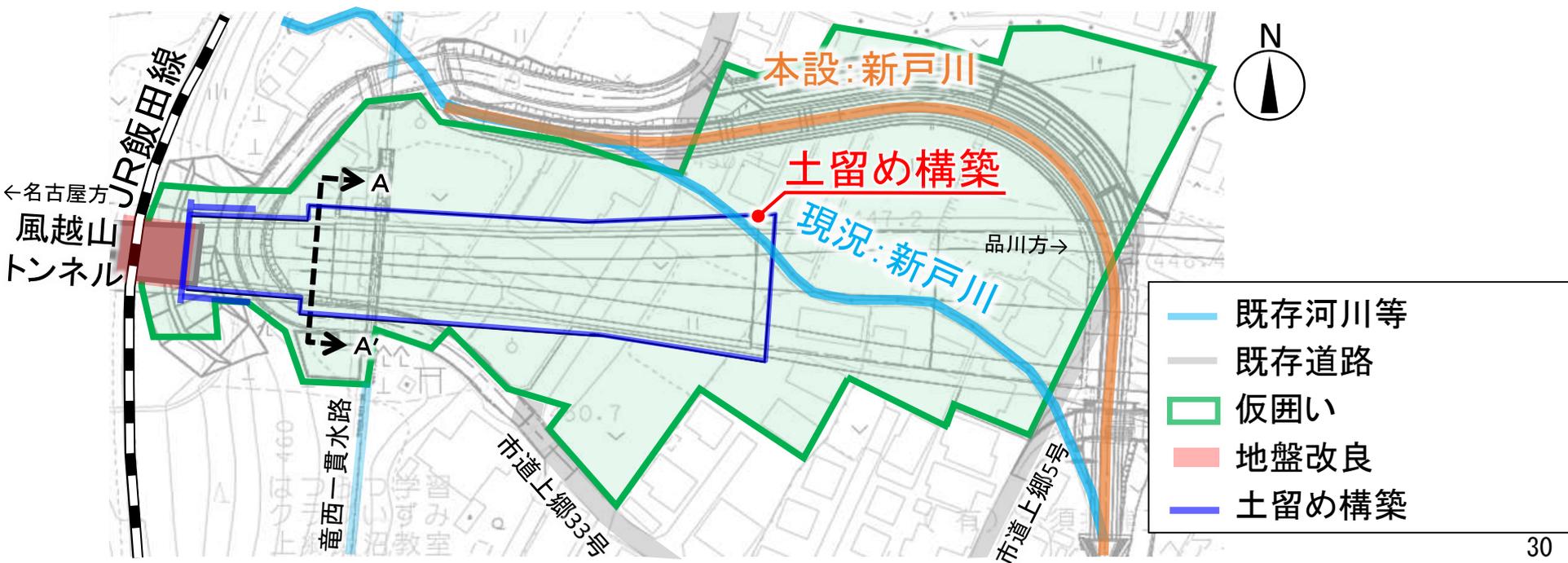
・支障する新戸川の仮切り回し工事を実施中

➤ 一級河川:新戸川の仮切り回し【理由】

- ・現況新戸川は、リニア本線と斜めに横断しているため使用する施工ヤードが分断される
- ・現況新戸川が土留め構築に支障する



施工ヤード

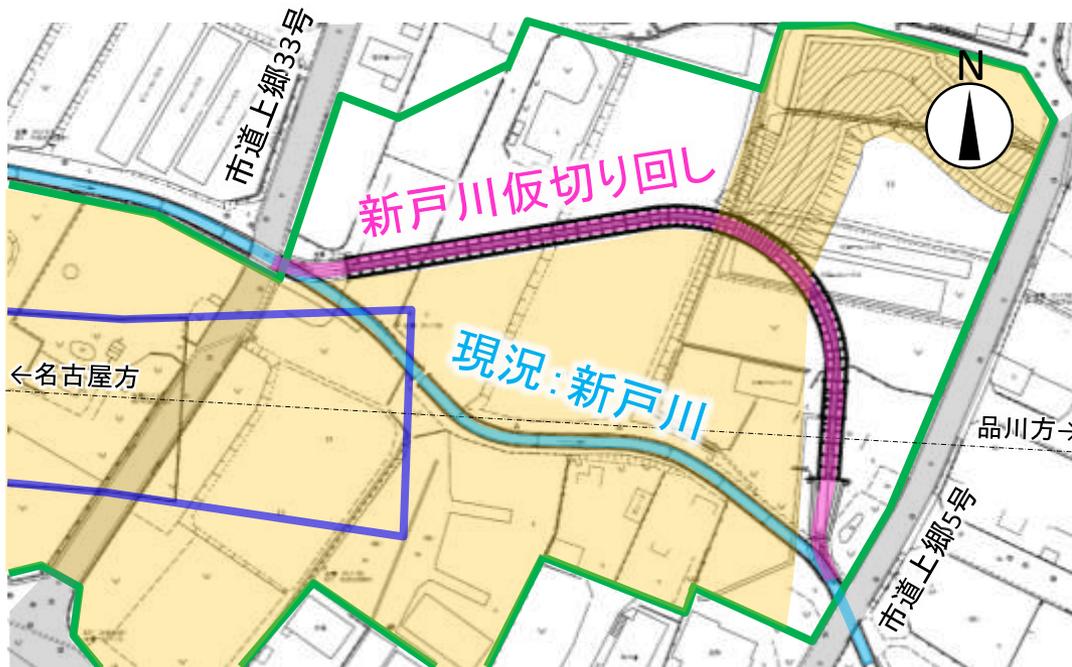


施工ヤード(上郷)

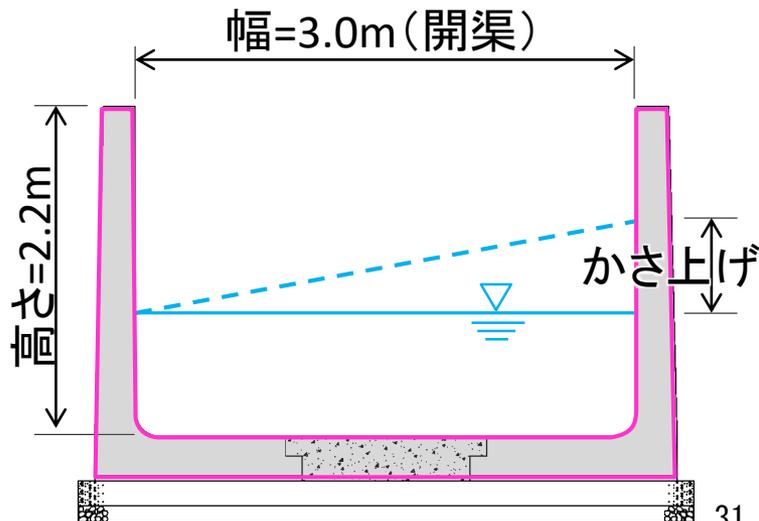
○現在の進捗(上郷ヤード)

- 一級河川:新戸川の仮切り回し【仮切り回し条件】
 - ・新戸川は一級河川であり、1年以上に渡り仮切り回しを行う場合は、本設並み且つ開渠の構造とするよう
河川管理者(県)からの指示
 - ※曲線部でのかさ上げ考慮 等

→ 2026年3月末までに完了予定

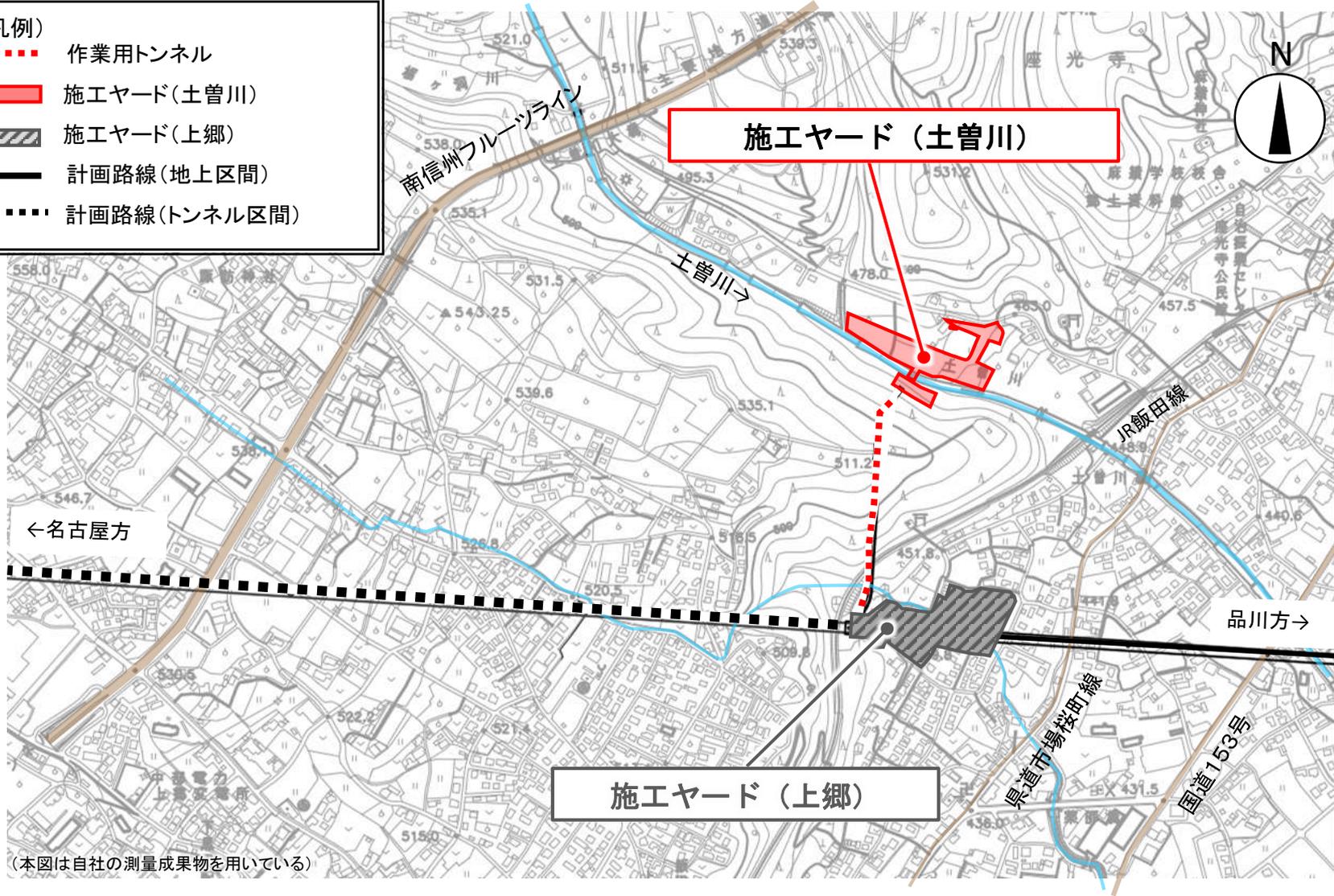


新戸川仮切り回し 曲線部の断面



風越山トンネル（上郷）工事概要

- (凡例)
- 作業用トンネル
 - 施工ヤード(土曾川)
 - ▨ 施工ヤード(上郷)
 - 計画路線(地上区間)
 - 計画路線(トンネル区間)



施工ヤード(土曾川)

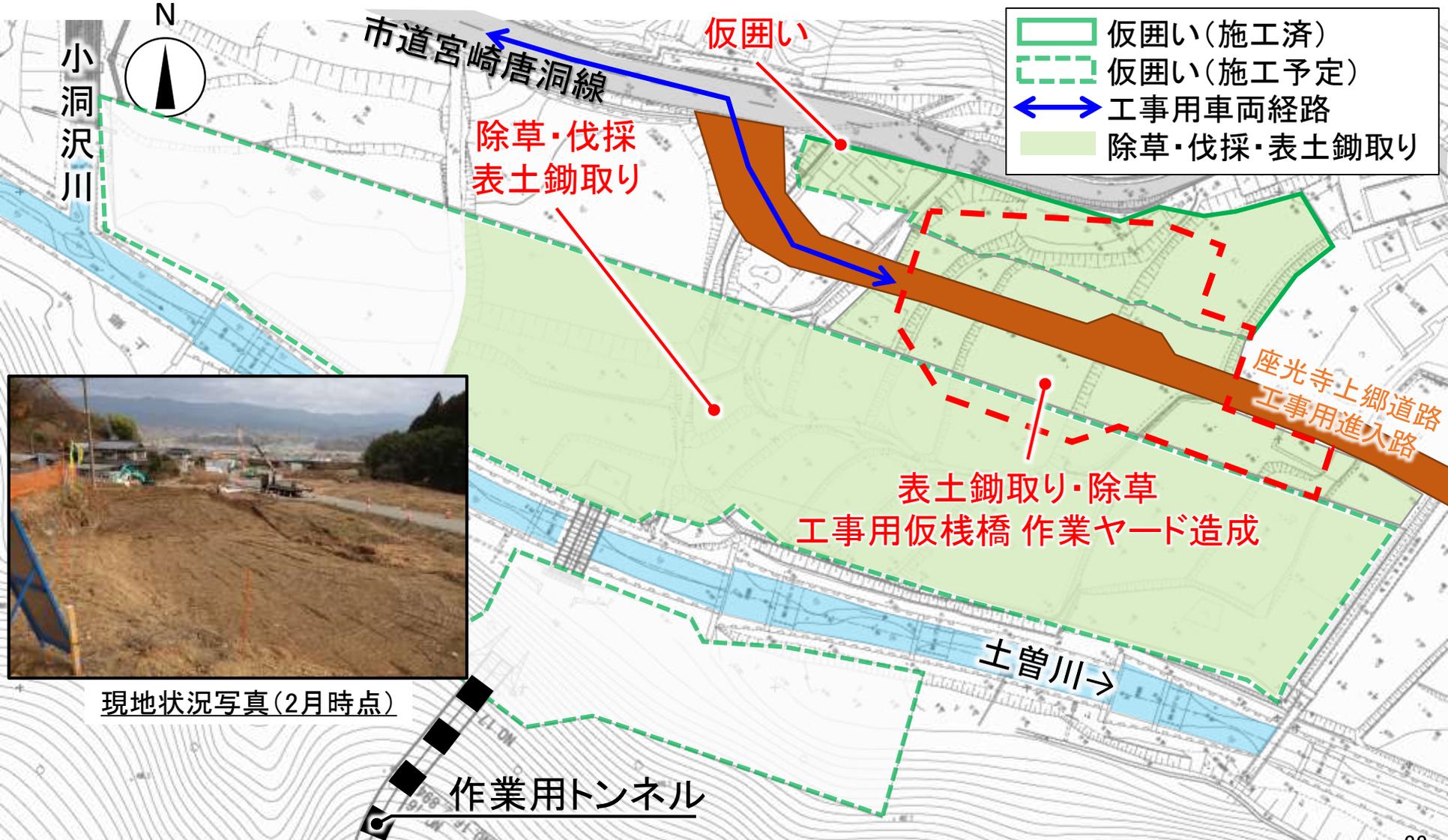
施工ヤード(上郷)

(本図は自社の測量成果物を用いている)

施工ヤード(土曾川)

○現在の進捗(土曾川ヤード)

・現在は一部の除草・伐採・表土鋤取り、仮囲い、工事用仮栈橋作業ヤード造成を実施中



現地状況写真(2月時点)



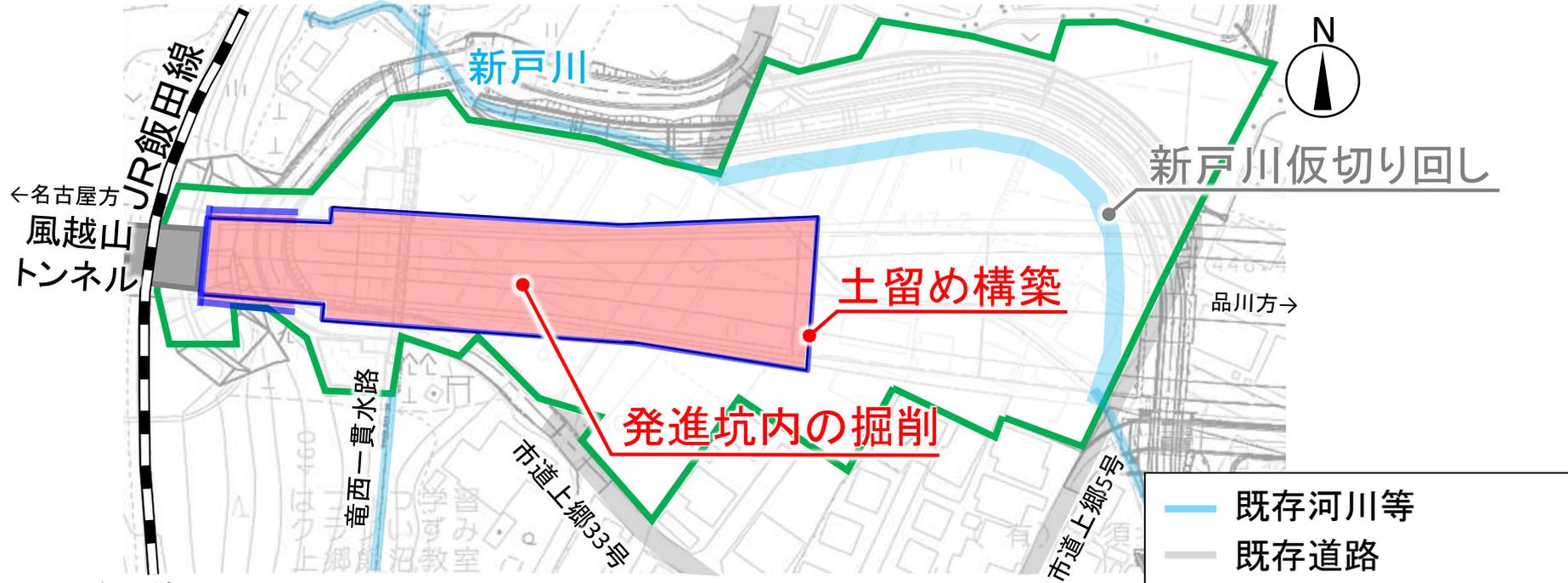
※今後の設計・協議等の進捗により変更になる場合があります。

施工ヤード(上郷)

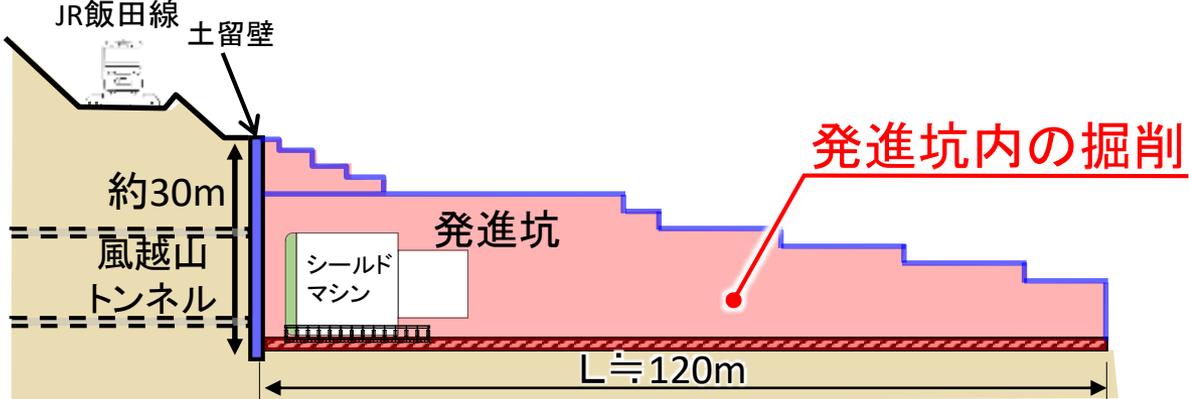
○来年度の主な工事内容(上郷ヤード)

・引き続き、土留め構築、発進坑内の掘削工事を実施

→ 2027年5月末頃までに完了予定

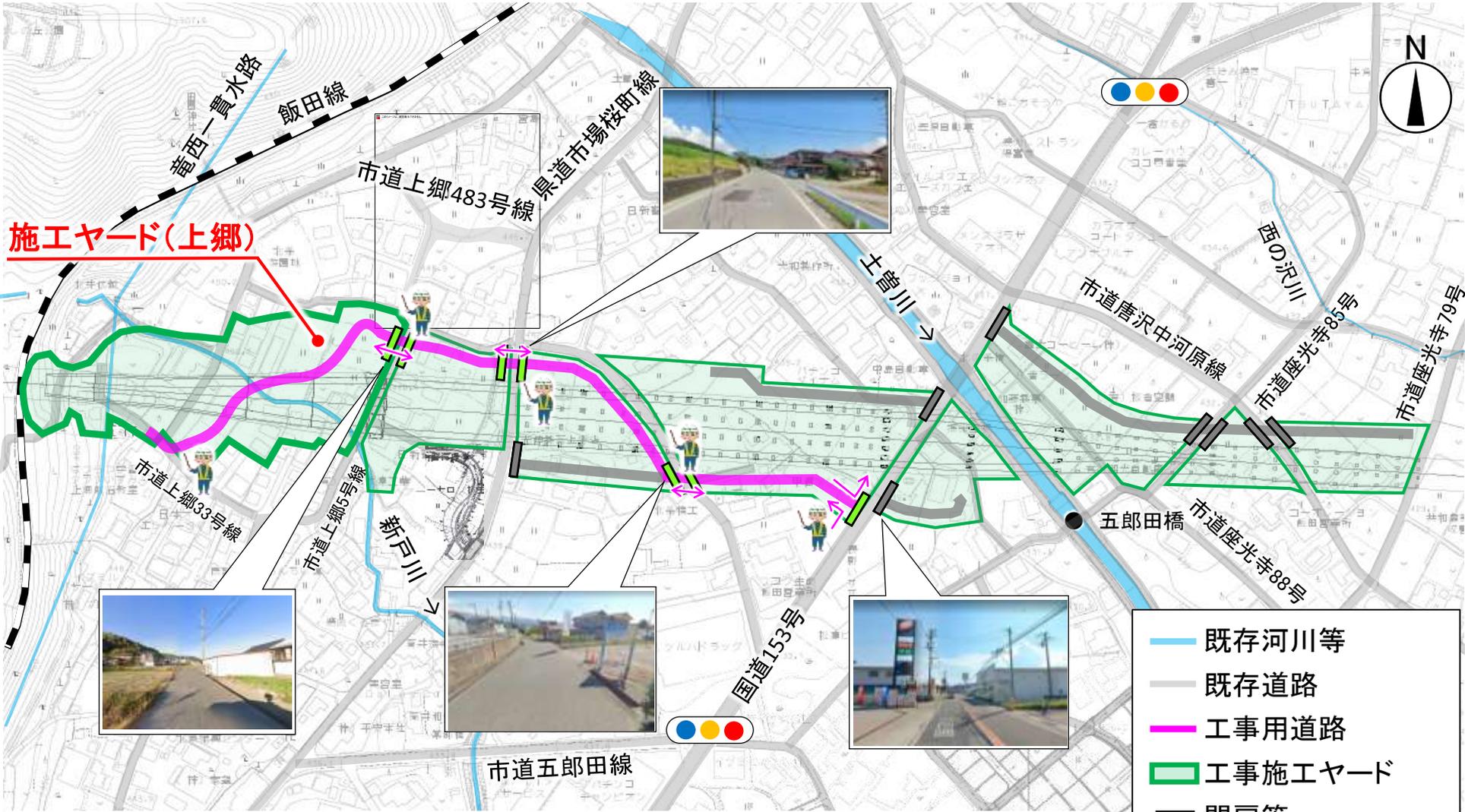


- 既存河川等
- 既存道路
- 仮囲い
- 土留め構築
- 発進坑内の掘削



工事用車両の運行計画

○来年度の工事用車両ルート



- 既存河川等
- 既存道路
- 工事用道路
- 工事施工ヤード
- 門扉等
- ● ● 信号機
- 交通誘導員

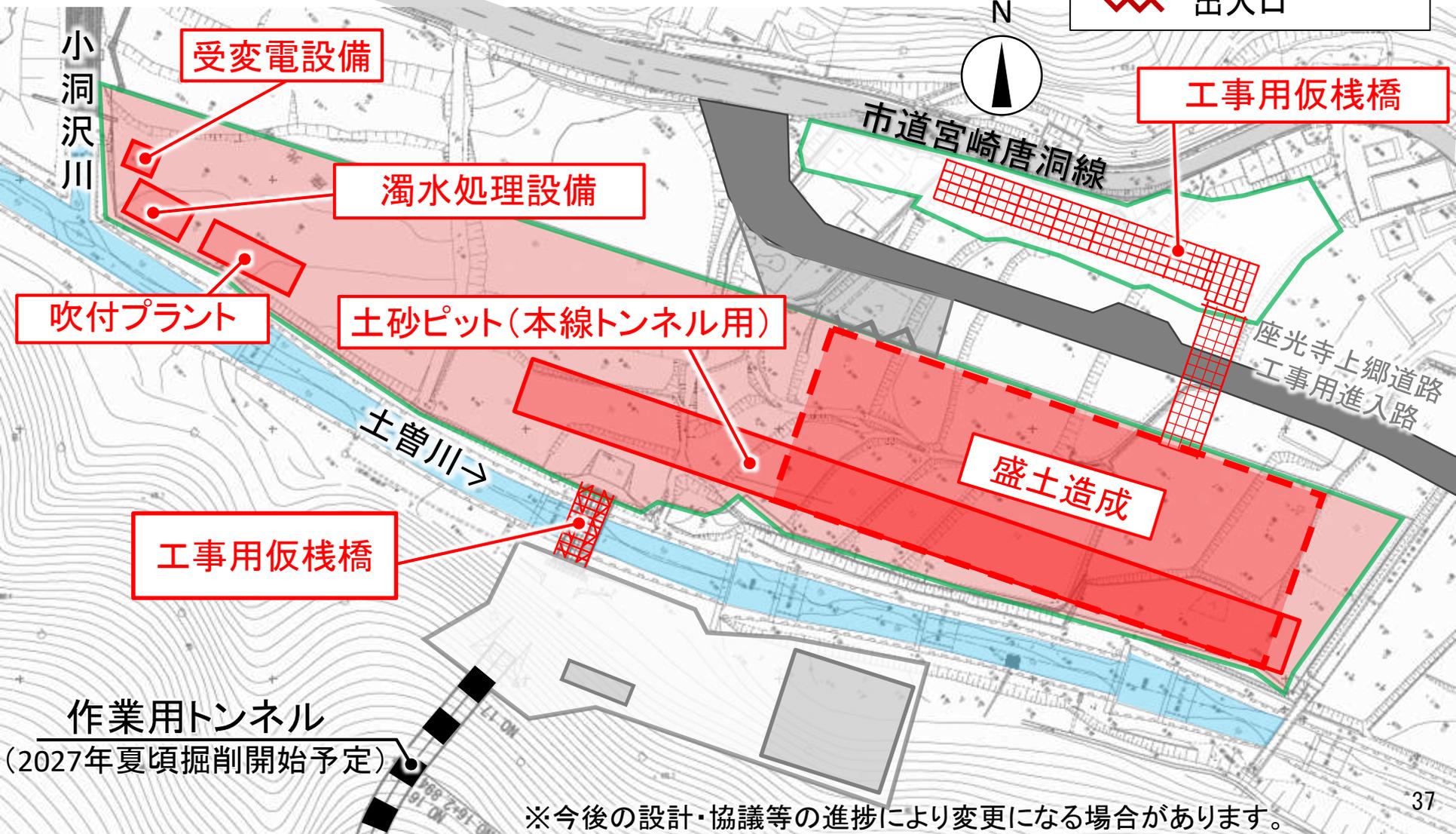
安全な車両運行に向け、交通安全マップを用いて作業員への教育を行います。
 工事用ルートや交通誘導員の配置については「工事だより」にてお知らせします。
 ※交通誘導員等の配置箇所は、今後の協議等により変更となる場合があります。

施工ヤード(土曾川)【座光寺側】

○来年度の主な工事内容

- ・盛土の造成、仮囲いを実施
- ・作業用トンネル掘削のために必要となる仮設備を施工

	仮囲い
	ヤード進入路
	出入口



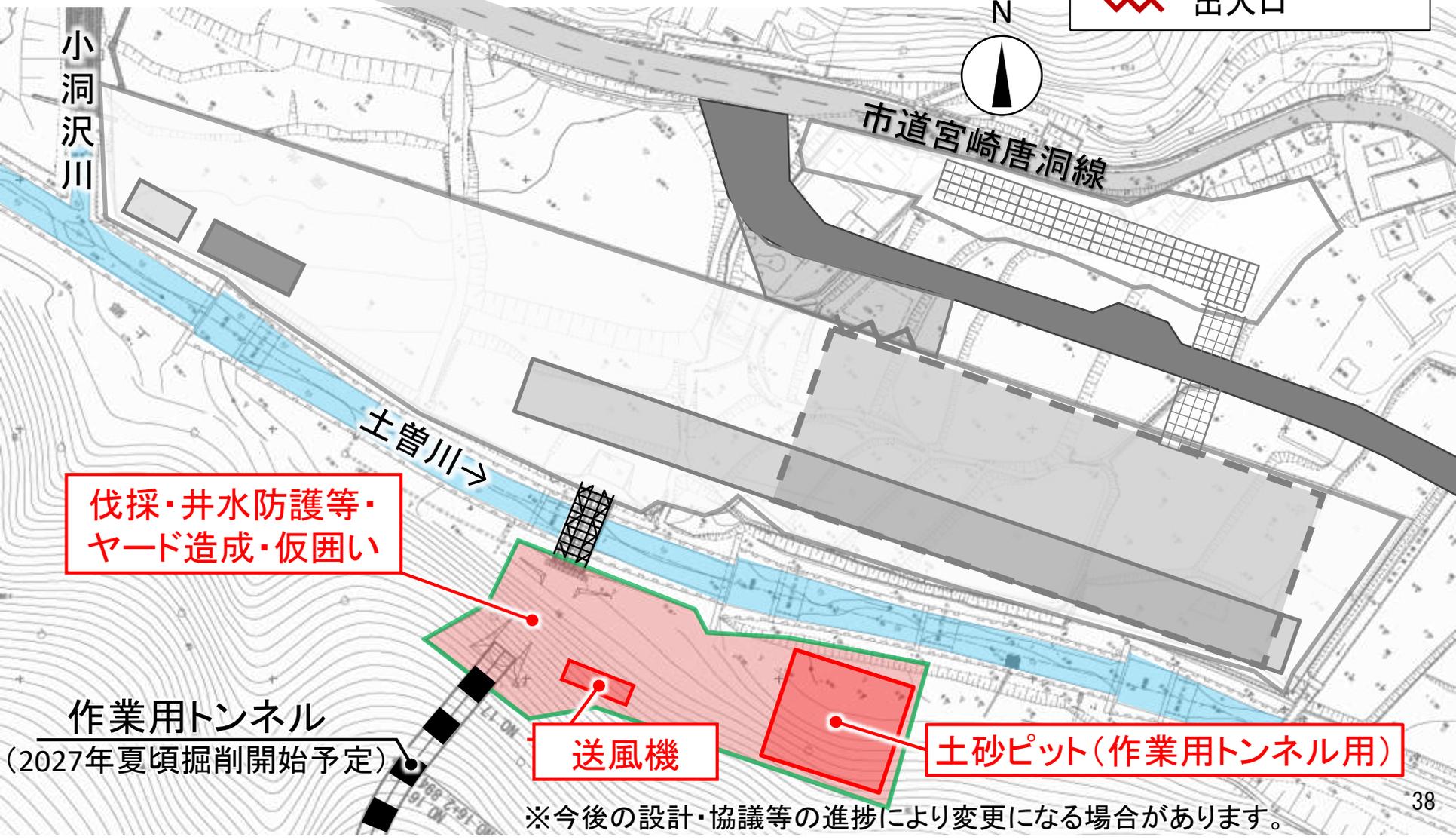
※今後の設計・協議等の進捗により変更になる場合があります。

施工ヤード(土曾川)【上郷側】

○来年度の主な工事内容

- ・伐採・井水防護等・ヤード造成・仮囲い等を実施
- ・作業用トンネル掘削のために必要となる仮設備を施工

	仮囲い
	ヤード進入路
	出入口



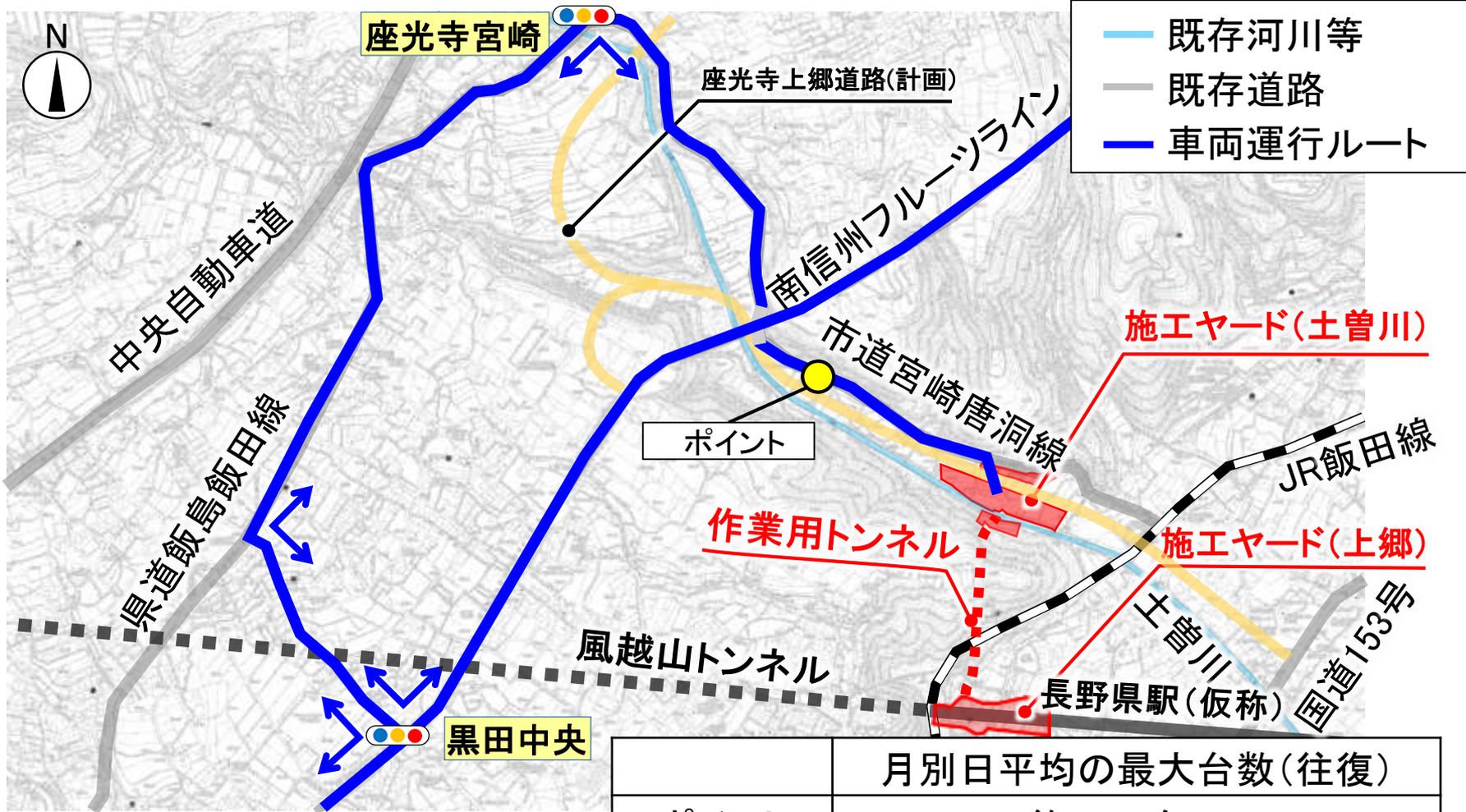
伐採・井水防護等・
ヤード造成・仮囲い

作業用トンネル
(2027年夏頃掘削開始予定)

送風機

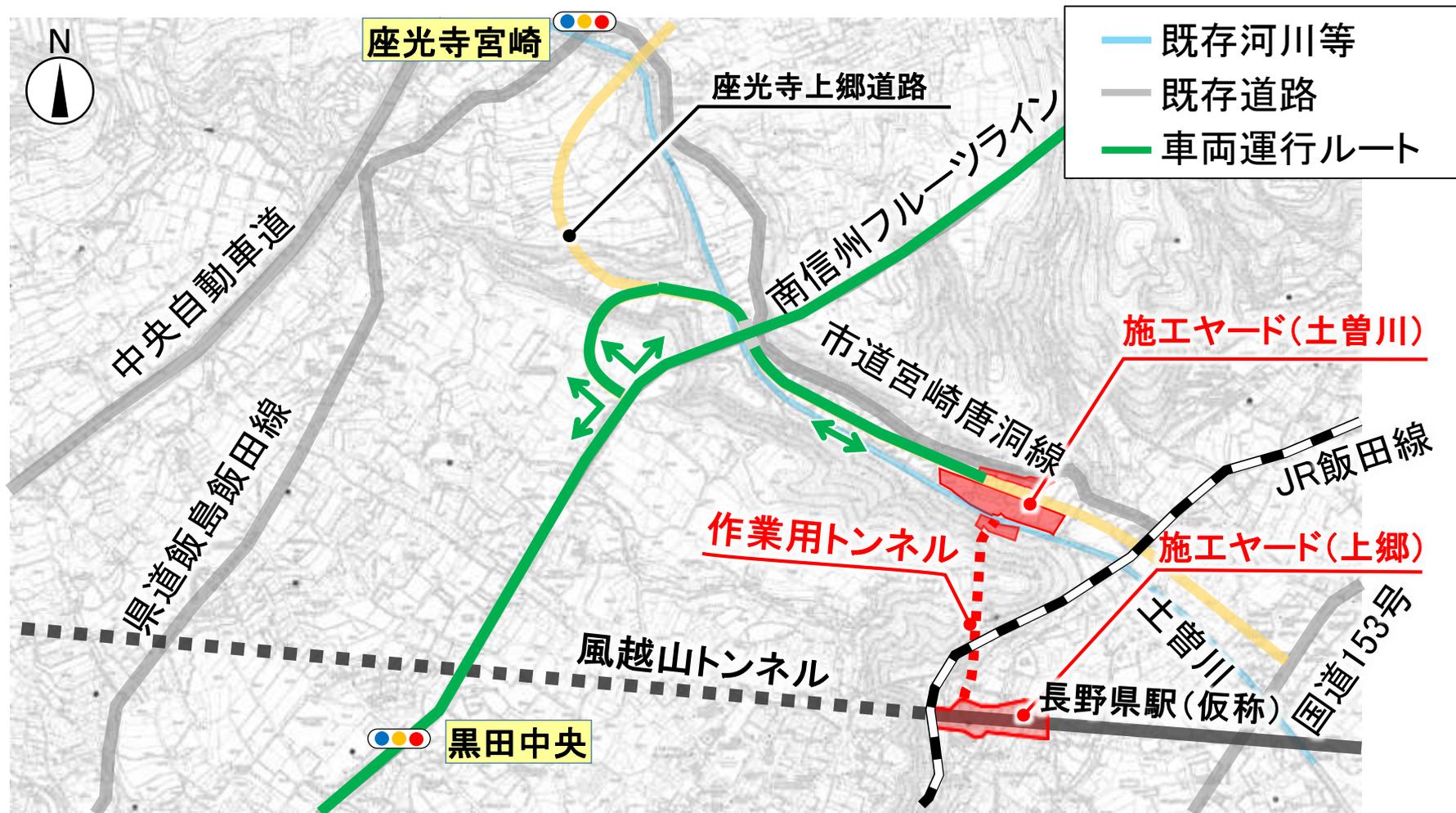
土砂ピット(作業用トンネル用)

※今後の設計・協議等の進捗により変更になる場合があります。



※ヤード造成に必要な土は、作業用トンネル掘削による発生土のほか、
 施工ヤード(上郷)及び他工区の発生土を活用する計画です。
 ※上郷工区先行着手工事の最大台数は140台/日(往復)で変更ありません。
 ※工事用車両の運行台数は、先行着手工事のみ台数を示しています。
 ※工事用車両運行ルートは、今後の協議等により変更する場合があります。

工事用車両の運行計画(2028年度以降)



※座光寺上郷道路の部分共有開始後は、座光寺上郷道路を通行します。
※工事用車両運行ルートは、今後の協議等により変更する場合があります。

<事業者・発注者>

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線長野工事事務所 (TEL 0265-38-6500)

環境保全事務所(長野) (TEL 0265-52-6511)

住所 長野県飯田市元町5451

受付日時 平日の9時～17時

(土・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く)

<施工者>

清水建設株式会社

中央新幹線 長野県駅作業所 (TEL 0265-48-0391)

住所 長野県飯田市上郷飯沼777-1

受付日時 平日の9時～17時

(土・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く)

<事業者>

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線長野工事事務所 (TEL 0265-38-6500)

環境保全事務所(長野) (TEL 0265-52-6511)

住所 長野県飯田市元町5451

受付日時 平日の9時～17時

(土・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く)

<発注者>

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

関東甲信工事局 飯田鉄道建設所 (TEL 0265-53-1755)

住所 長野県飯田市鈴加町1-1-3

受付日時 平日の9時～17時

(土・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く)

<施工者>

中央新幹線、風越山トンネル(上郷)特定建設工事共同企業体

構成員:大林・前田・JR東海建設・若築 (TEL 0265-49-3731)

住所 長野県飯田市上郷飯沼1705-1

受付日時 平日の9時～17時

(土・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆期間、年末年始を除く)